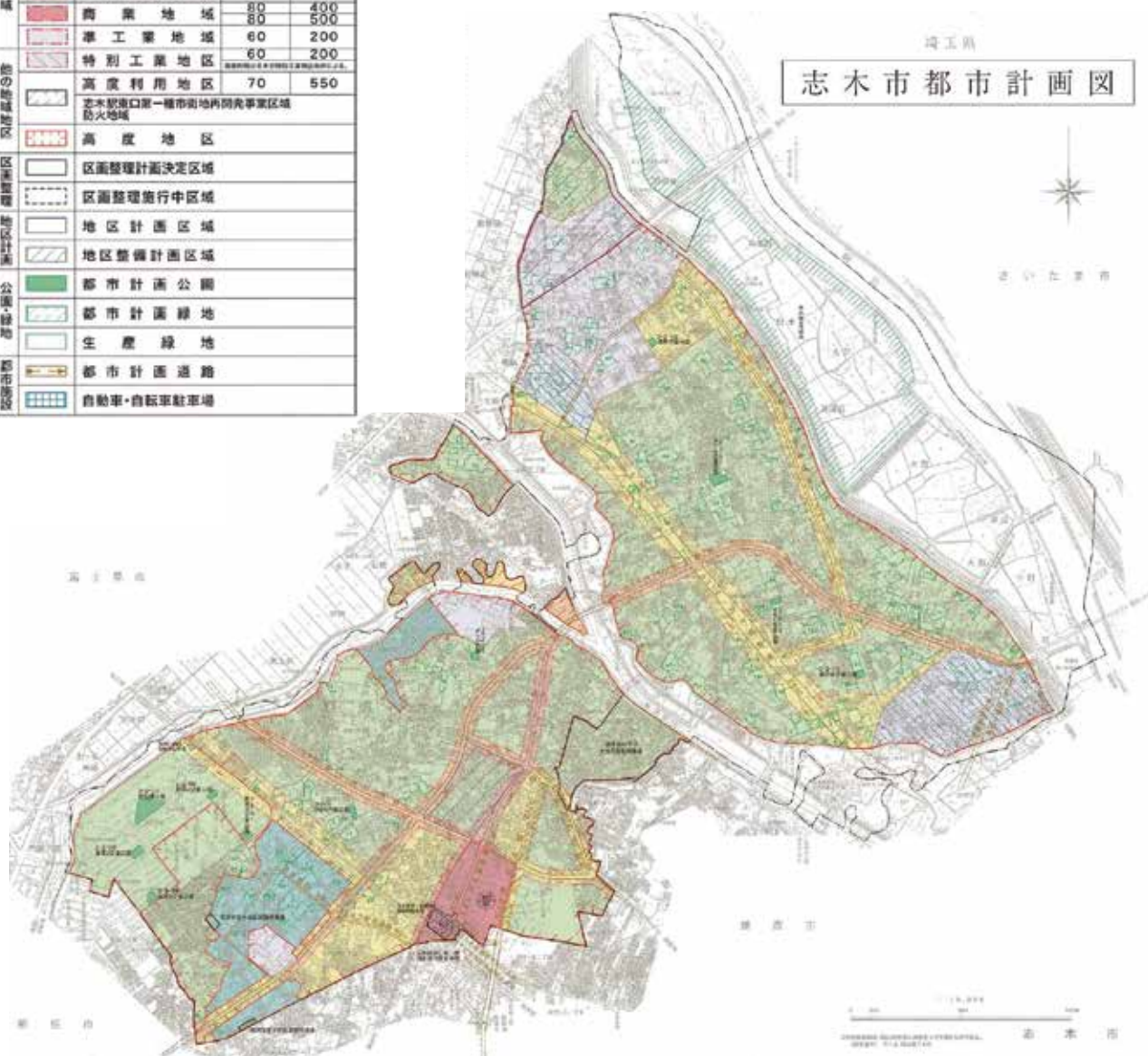


志木市 将来ビジョン

資料編 参考資料

1. 都市計画図

凡		例		
都市計画区域(市行政区域)				
		市街化区域	建ぺい率(%) 容積率(%)	
用地地域		第1種低層住居専用地域	60 100	
		第1種中高層住居専用地域	60 200	
		第1種住居地域	60 200	
		第2種住居地域	60 200	
		近隣商業地域	80 200	
		商業地域	80 400 80 500	
		準工業地域	60 200	
		工業地域	60 200	
	他の地域地区		特別工業地区	60 200
			高度利用地区	70 550
区画整理		志木駅東口第一種市街地再開発事業区域 防火地域		
		高度地区		
地区計画		区画整理計画決定区域		
		区画整理施行中区域		
公園緑地		地区計画区域		
		地区整備計画区域		
都市施設		都市計画公園		
		都市計画緑地		
都市施設		生産緑地		
		都市計画道路		
都市施設		自動車・自転車駐車場		



2. 市民意識調査(概要版)

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

市政運営の指針となる「第五次志木市総合振興計画」と将来の公共施設のあり方を検討する「公共施設等マネジメント戦略」の策定にあたり、市が推進している施策や公共施設の満足度や重要度などを市民から聴取し、本調査結果を基礎資料とすることを目的とする。

(2) 調査の概要

調査の概要は以下のとおりである。

アンケート調査の概要

調査地域	志木市全域
調査対象	志木市在住の満 20 歳以上の男女個人 (平成 26 年 8 月 1 日現在)
調査方法	郵送配布、郵送回収
対象者数(配布数)	3,121 人
抽出方法	住民基本台帳に基づく無作為抽出
有効回収数	1,119 票
有効回収率	35.9%
実施期間	平成 26 年 8 月 31 日～9 月 19 日

(3) 調査内容

I. 回答者の基本属性

〔性別、年齢、居住地域、職業、通勤・通学先、居住年数〕

II. 住みよさ

〔定住意向、住みよい理由と住みにくい理由〕

III. 社会活動への参加状況

〔ボランティアへの参加状況、地域活動への参加状況、市民力を生かしたい活動〕

IV. 市政に対する満足度

〔都市基盤、地域環境、教育・文化、健康・医療・福祉、産業、まちづくり・行政サービス〕

V. これからのまちづくり

〔重点的に取り組むべき施策、具体的にに取り組むべき項目〕

VI. 市政や市政情報について

〔市政への関心、要望等の伝達方法、要望等の市政反映、政策の認知度、市政運営への期待、市政情報の入手方法〕

VII. 公共施設について

〔利用状況、利用していない理由、公共施設の量・配置、負担費用の程度、減らすべき施設、公共施設の対策〕

(4) 調査結果の留意点

① 単数回答の場合の集計及び表示

- ・設問に「1つ」と記載したものが対象となります。
- ・単数回答の場合は、「全体」の値（無回答を含む）と合計値とが一致します。
- ・パーセンテージ（％）の合計も 100％となります。
- ・グラフは通常、円グラフを使用しています。ただし、分類区分が多い場合は、棒グラフを使用しているところもあります。

② 複数回答の場合の集計及び表示

- ・設問に「2つ」「3つ」または「複数選択可」と記載したものが対象となります。
- ・複数回答の場合、「全体」の値（無回答を含む）と合計値とは一致しません。
- ・パーセンテージは、各々の回答数を該当する「全体」数で除した値であり、合計値は 100％になりません。

③ パーセンテージの算出及び表示

- ・パーセンテージは表内の各項目の値を「全体」の値で除して算出しています。
- ・小数点第 2 位を四捨五入しているので、各パーセント値と合計パーセント値は一致しない場合があります。
- ・図表中の「N」は、該当質問における有効回答者総数を表します。

(5) 分析結果

項目	分析結果
定住意向	○全体の定住意向は 74％と高く、特に 60 歳代以上は「ずっと住み続けたい」が最も多くなっています。 ○志木地区は交通の便がよく「住み続けたい」理由となっているが、宗岡地区は「引っ越したい」理由として交通の便の悪さがあげられており、交通の利便性には地域格差があります。 ○一方で、中宗岡、下宗岡では、「住み続けたい理由」として、居住環境や自然環境のよさがあげられます。
市民力	○地域活動への参加は、年代別・地域別にみても、ほとんどの属性で 40％～60％程度が「まったく参加していない」という状況であるが、館では「都合がつけば参加している」人が多くなっています。 ○参加していない理由として、参加する時間がないことがあげられますが、60 歳代・70 歳代は参加するきっかけがないことがあげられており、退職者への情報提供などのきっかけづくりが求められます。 ○市民力を生かしたい活動として、全体としては災害対策・防犯活動が多くなっていますが、20 歳代・30 歳代では子育て活動、40～60 歳代では自然環境活動、60 歳代以上は高齢者福祉活動が多くなっています。

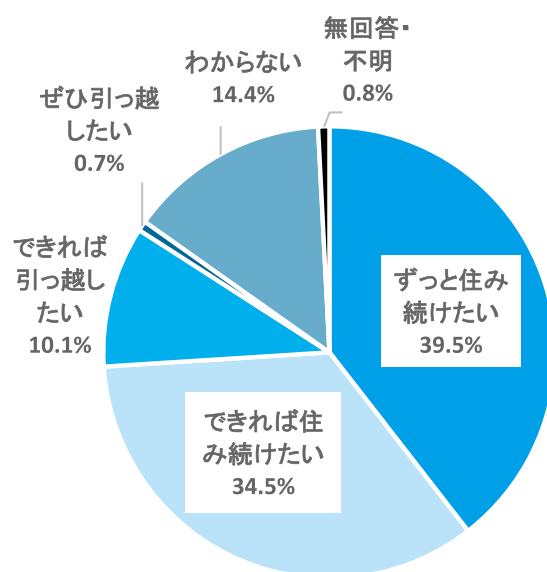
項目	分析結果
施策の満足度	○全体ではごみ収集やリサイクル活動の満足度が高く、40 歳代以上では保健サービスの満足度も高くなっています。 ○地域別にみると、本町や幸町で、鉄道やバスなどの交通網の整備の満足度が高くなっています。 ○一方、満足度が低い施策として、観光施策や商工業振興施策、就業機会の提供など、産業・雇用に関する項目があげられます。 ○環境分野については継続的な取り組みが必要であり、産業・雇用分野では取組の改善がもとめられます。また、交通分野では地域格差の是正が必要です。
施策の重要度	○全体では、防災・防犯施策の重要度が高く、その中でも特に震災対策の強化やライフラインの確保が求められます。 ○また、上宗岡、下宗岡では水害対策の強化が求められます。 ○20 歳代・30 歳代では子育て支援施策、60 歳代以上では高齢者施策の重要度が高くなっています。 ○子育てに関しては、子育てと仕事の両立を支援する就業環境の整備、高齢者に対しては、高齢者にやさしいまちづくりの推進が求められます。
行財政改革 市政運営	○市政への関心度は全体で約 50%となっており、年代が上がるにつれ、関心度は高くなっています。 ○施策・事業の認知度は、不明・無回答が 30～40%を占めていますが、認知度が高い事業としては、「子ども医療費窓口払い撤廃」となっています。 ○情報入手方法は、広報紙「広報しき」が最も多くなっています。次いで、20～50 歳代ではホームページが多くなっていますが、60 歳代以上では新聞やテレビなどによる入手が多くなっています。
公共施設の 利用	○公共施設の利用に関しては、庁舎や志木駅前出張所が多くなっており、20 歳代では柳瀬川図書館が多くなっています。 ○地区によって、柳瀬川図書館、いろは遊学図書館・いろは遊学館、宗岡公民館などの施設の利用が多くなっています。 ○公共施設の量・配置については適量ではありますが、効率化を図るために、利用者の少ない施設を減らしたり、複合化・多機能化を図ることが求められます。 ○また、施設の管理・運営にあたっては、民間のノウハウや資金の活用、コミュニティによる管理・運営が求められます。

2. 単純集計結果

(1) 定住意向

① 定住意向

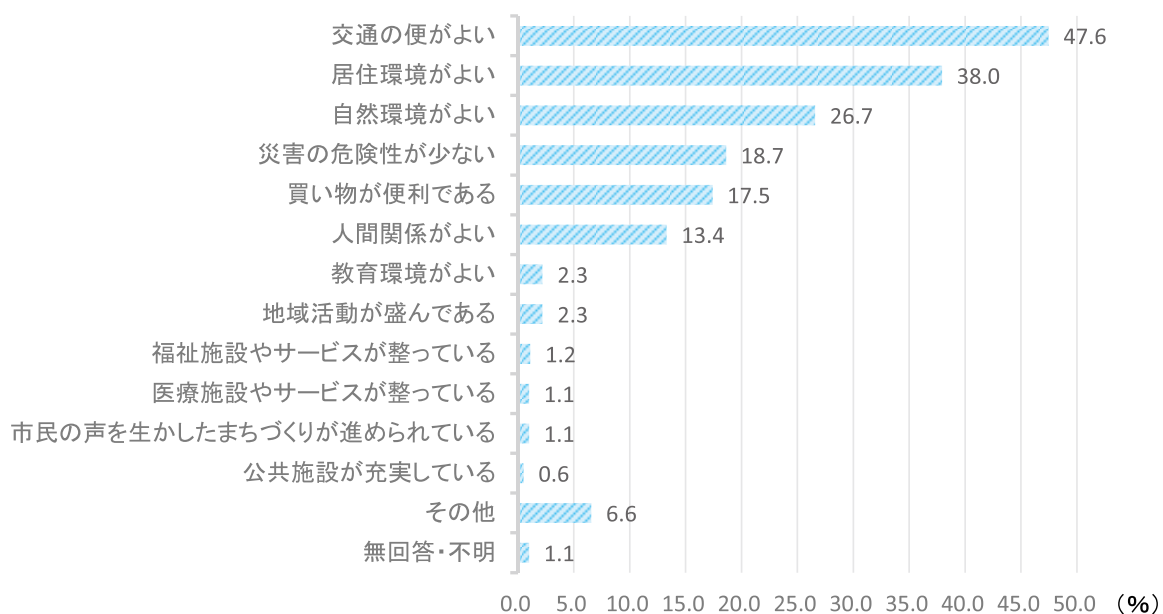
- 「ずっと住みたい」が 39.5%と最も高く、次いで「できれば住みたい」が 34.5%となっている。両者の合計が 74.0%であることから、定住意向は強いといえる。
- 一方、「できれば引っ越したい」、「ぜひ引っ越したい」の合計は 10.8%となっている。



(N = 1,119)

② 「ずっと住みたい」「できれば住みたい」の理由

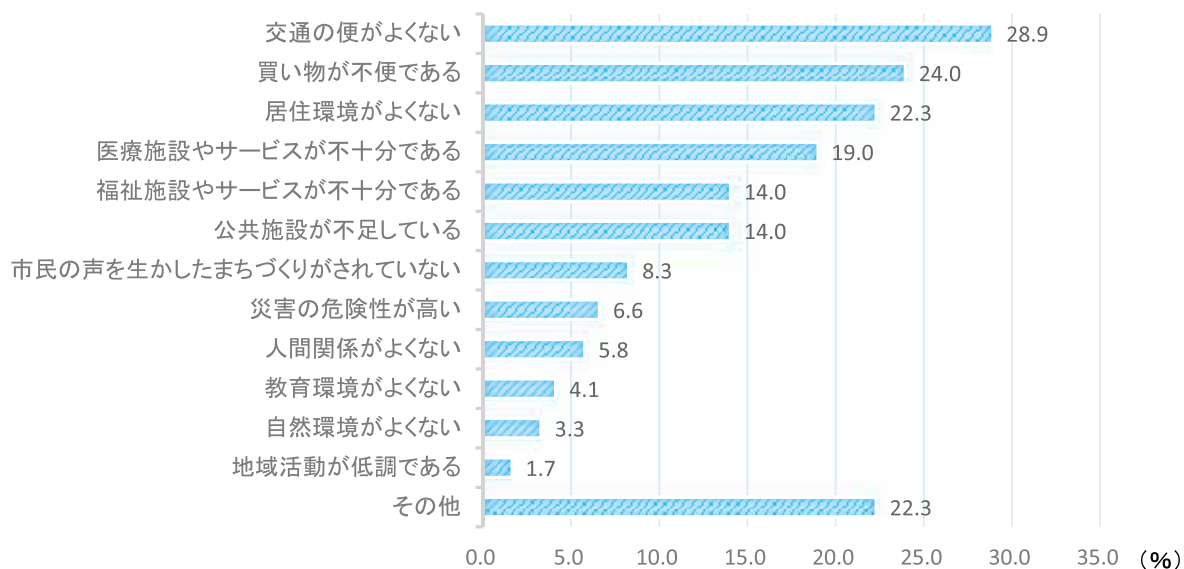
- 「交通の便がよい」が 47.6%と最も高く、次いで「居住環境がよい」が 38.0%となっている。
- 最も低いのは「公共施設が充実している」で 0.6%となっている。



(N = 828 2つまで選択可)

③ 「できれば引っ越したい」「ぜひ引っ越したい」の理由

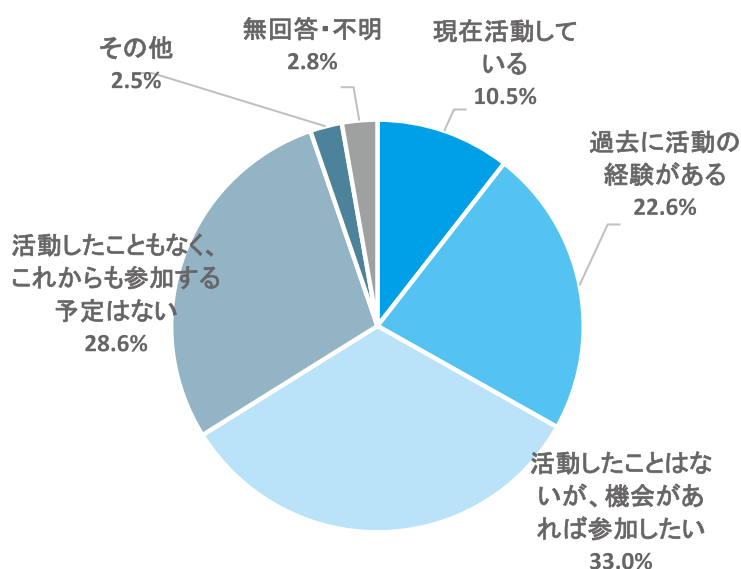
- 「交通の便がよいくない」が 28.9%と最も高く、次いで「買い物が不便である」が 24.0%、「居住環境がよいくない」が 22.3%となっている。



(N=121 2つまで選択可)

(2) ボランティア活動への参加

- 「活動したことはないが、機会があれば参加したい」が 33.0%と最も高く、次いで「活動したこともなく、これからも参加する予定はない」が 28.6%となっている。
- 最も低いのは「現在活動している」の 10.5%となっている。

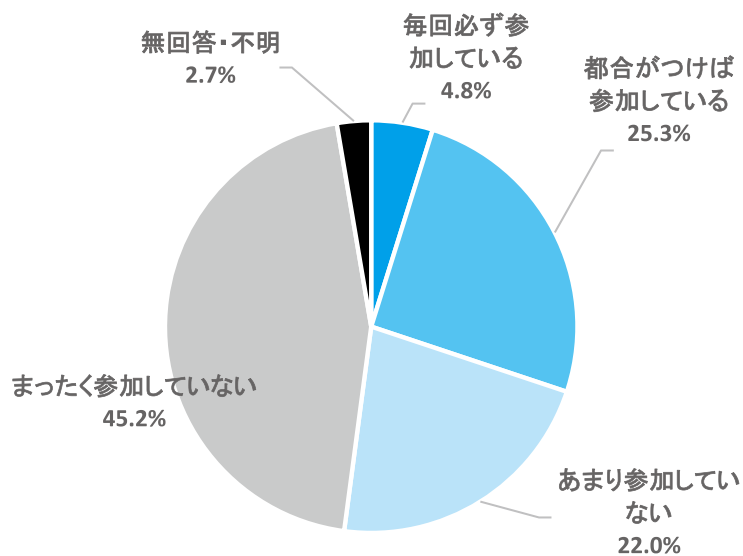


(N=1,119)

(3) 地域活動への参加

① 地域活動への参加

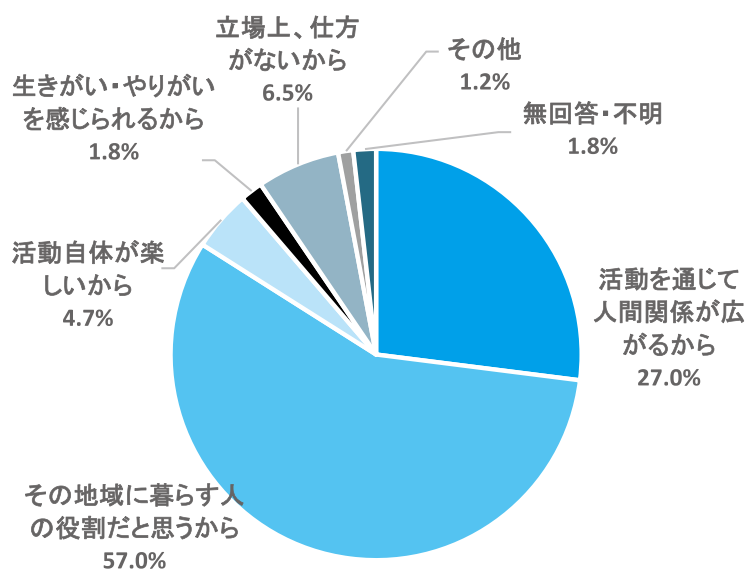
- 「まったく参加していない」が45.2%と最も高く、次いで「都合がつけば参加している」が25.3%、「あまり参加していない」が22.0%となっている。



(N = 1, 119)

② 「毎回必ず参加している」「都合がつけば参加している」の理由

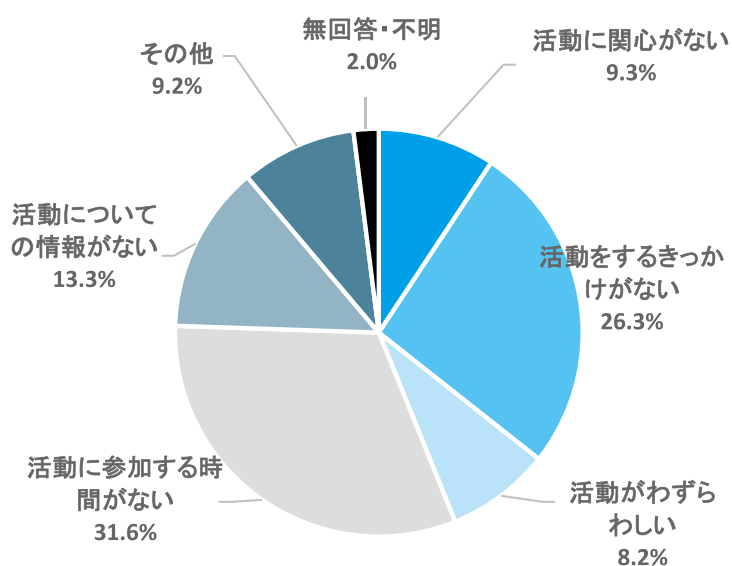
- 「その地域に暮らす人の役割だと思うから」が57.0%と突出して高く、全体の半数以上を占めている。
- 次いで「活動を通じて人間関係が広がるから」が27.0%となっている。



(N = 337)

③ 「あまり参加していない」「まったく参加していない」の理由

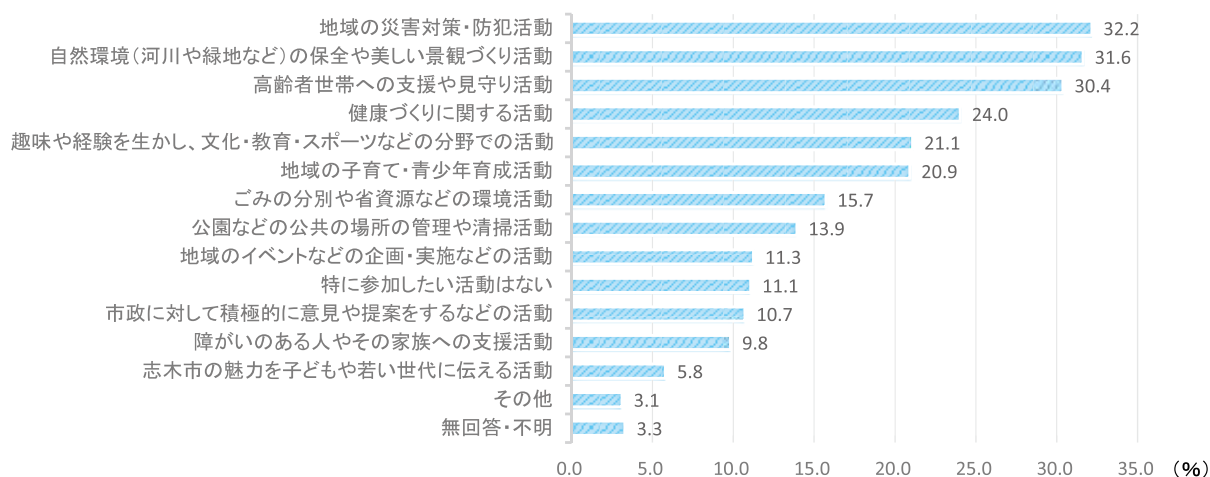
- 「活動に参加する時間がない」が 31.6%と最も高く、次いで「活動をするきっかけがない」が 26.3%となっている。



(N = 752)

(4) 市民力を生かしたい活動

- 「地域の災害対策・防犯活動」が 32.2%と最も高く、次いで「自然環境（河川や緑地など）の保全や美しい景観づくり活動」が 31.6%、「高齢者世帯への支援や見守り活動」が 30.4%となっている。
- 最も低いのは「志木市の魅力を子供や若い世代に伝える活動」で 5.8%となっている。

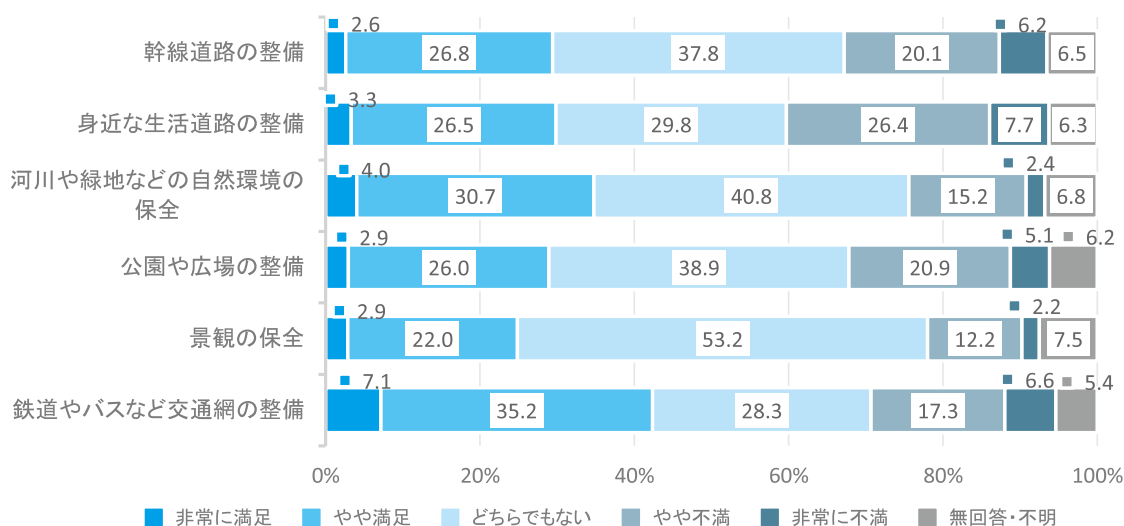


(N = 1,119 3つまで選択可)

(5) 施策別の取組の満足度

① 都市基盤について

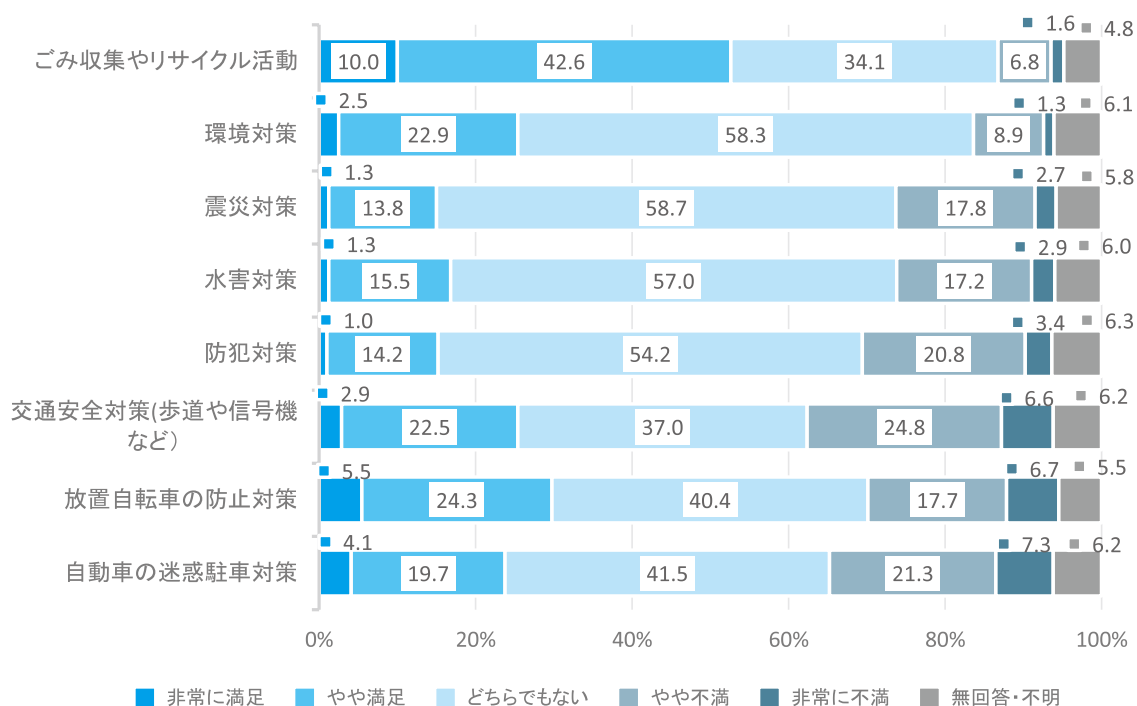
- 「非常に満足」と「やや満足」を合わせた割合が最も高いのは、「鉄道やバスなど交通網の整備」で、次いで「河川や緑地などの自然環境の保全」となっている。
- また、「非常に不満」と「やや不満」を合わせた割合が最も高いのは、「身近な生活道路の整備」で、次いで「幹線道路の整備」「公園や広場の整備」と続いている。



(N = 1, 119)

② 地域環境について

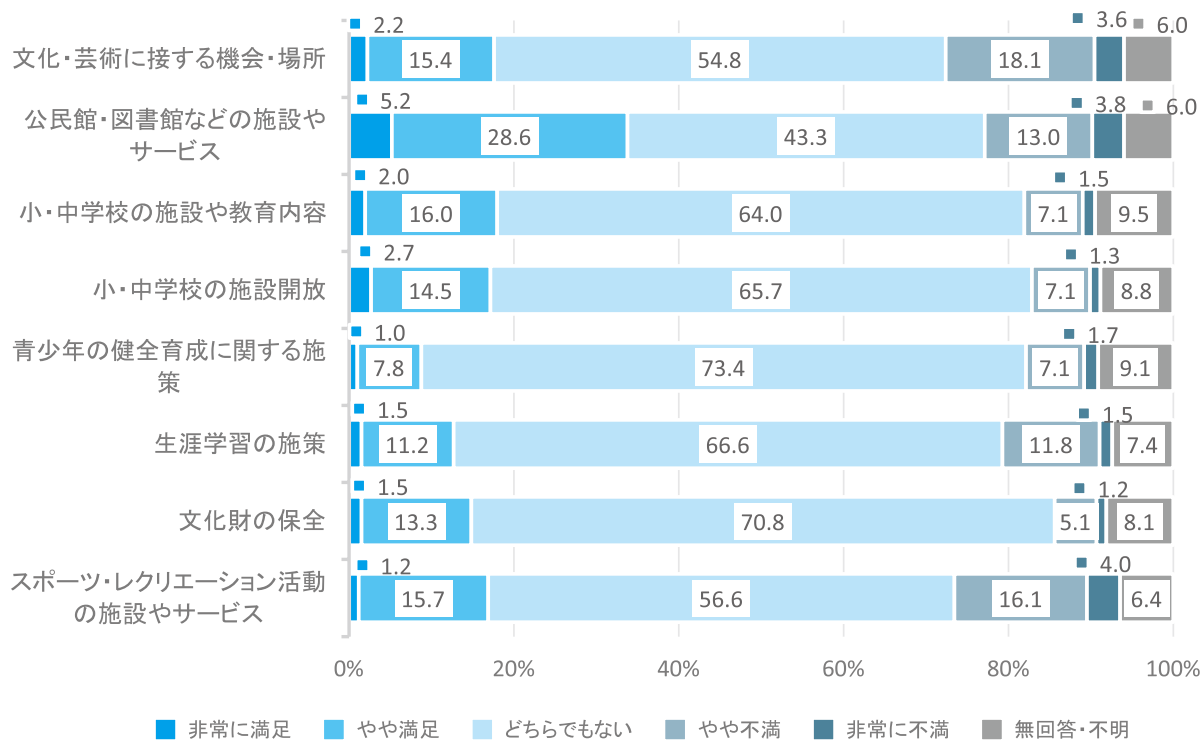
- 「非常に満足」と「やや満足」を合わせた割合が最も高いのは、「ごみ収集やリサイクル活動」で、次いで「放置自転車の防止対策」となっている。
- また、「非常に不満」と「やや不満」を合わせた割合が最も高いのは、「交通安全対策(歩道や信号機など)」で、次いで「自動車の迷惑駐車対策」「防犯対策」と続いている。



(N = 1, 119)

③ 教育・文化について

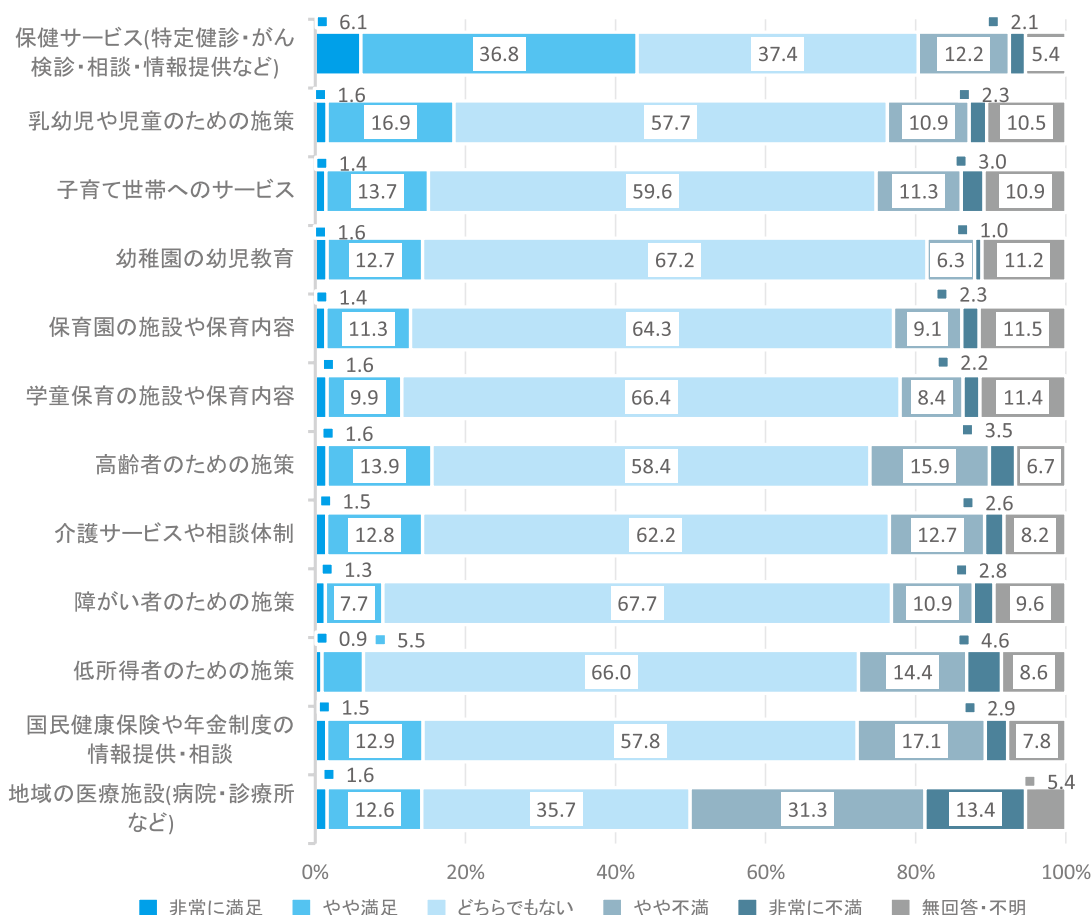
- 「非常に満足」と「やや満足」を合わせた割合が最も高いのは、「公民館・図書館などの施設やサービス」で、次いで「小・中学校の施設や教育内容」「文化・芸術に接する機会・場所」と続いている。
- また、「非常に不満」と「やや不満」を合わせた割合が最も高いのは、「文化・芸術に接する機会・場所」で、次いで「スポーツ・レクリエーション活動の施設やサービス」となっている。



(N = 1, 119)

④ 健康・医療・福祉について

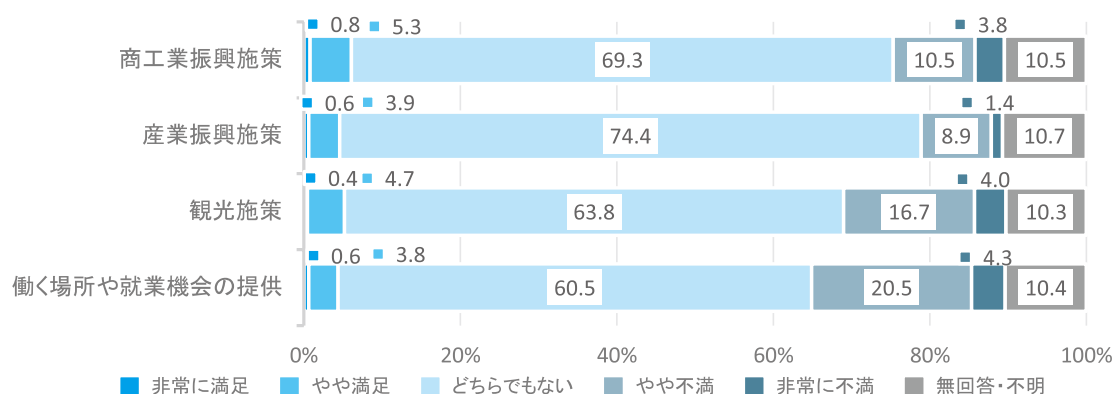
- 「非常に満足」と「やや満足」を合わせた割合が最も高いのは、「保健サービス（特定健診・がん検診・相談・情報提供など）」で、突出している。次いで「乳幼児や児童のための施策」「高齢者のための施策」と続いている。
- また、「非常に不満」と「やや不満」を合わせた割合が最も高いのは、「地域の医療施設（病院・診療所など）」で、次いで「国民健康保険や年金制度の情報提供・相談」「高齢者のための施策」となっている。



(N = 1, 119)

⑤ 産業について

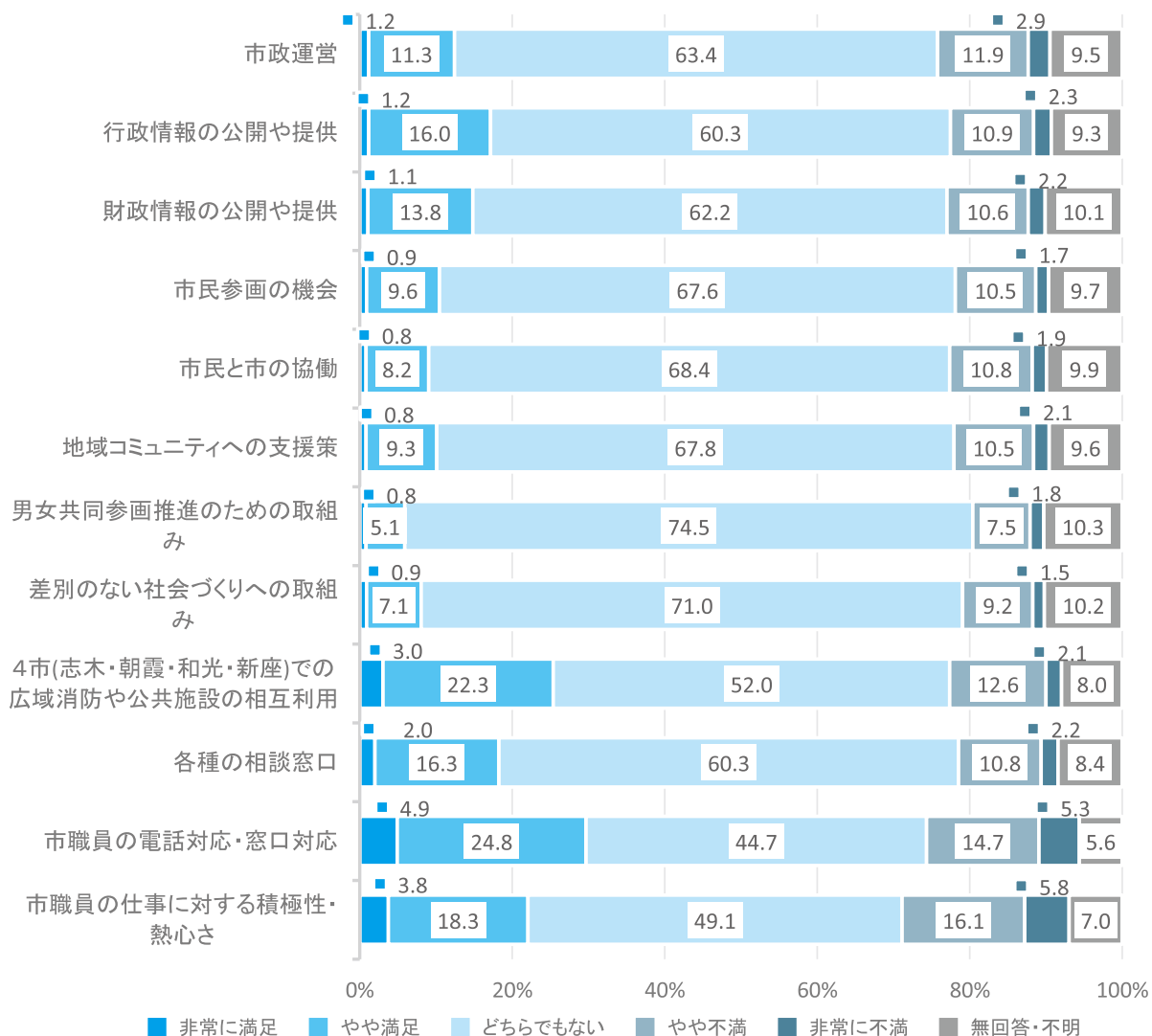
- 全体的に「非常に満足」と「やや満足」は同程度であるが、「非常に満足」と「やや満足」を合わせた割合が最も高いのは、「商工業振興施策」となっている。
- また、「非常に不満」と「やや不満」を合わせた割合が最も高いのは、「働く場所や就業機会の提供」で、次いで「観光施策」となっている。



(N = 1, 119)

⑥ まちづくり・行政サービスについて

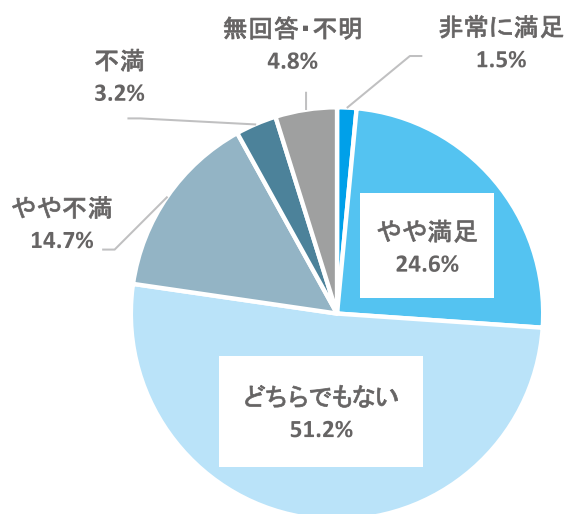
- 「非常に満足」と「やや満足」を合わせた割合が最も高いのは、「市職員の電話対応・窓口対応」で、次いで「4市（志木・朝霞・和光・新座）での広域消防や公共施設の相互利用」「市職員の仕事に対する積極性・熱心さ」と続いている。
- 一方、「非常に不満」と「やや不満」を合わせた割合が最も高いのは、「市職員の仕事に対する積極性・熱心さ」で、次いで「市職員の電話対応・窓口対応」となっている。



(N = 1, 119)

(6) 施策の総合的な満足度

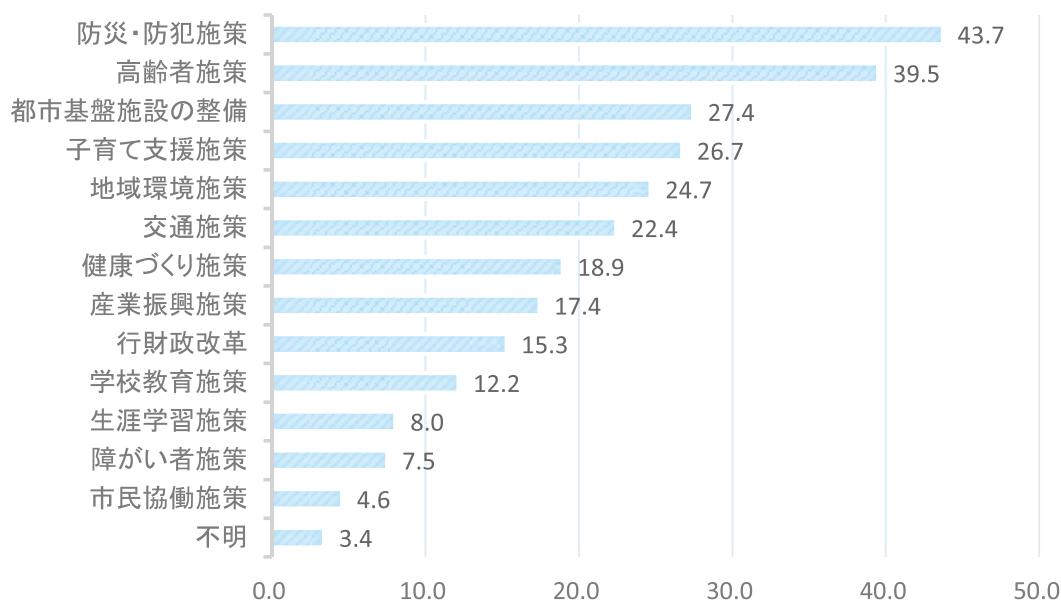
- 「どちらでもない」が 51.2%と最も高く、全体の半数以上を占めている。
- 次いで「やや満足」が 24.6%となっている。



(N = 1, 119)

(7) 重点的に取り組むべき施策

- 「防災・防犯施策」が 43.7%と最も高く、次いで「高齢者施策」が 39.5%となっている。
- 最も低いのは「市民協働施策」の 4.6%となっている。

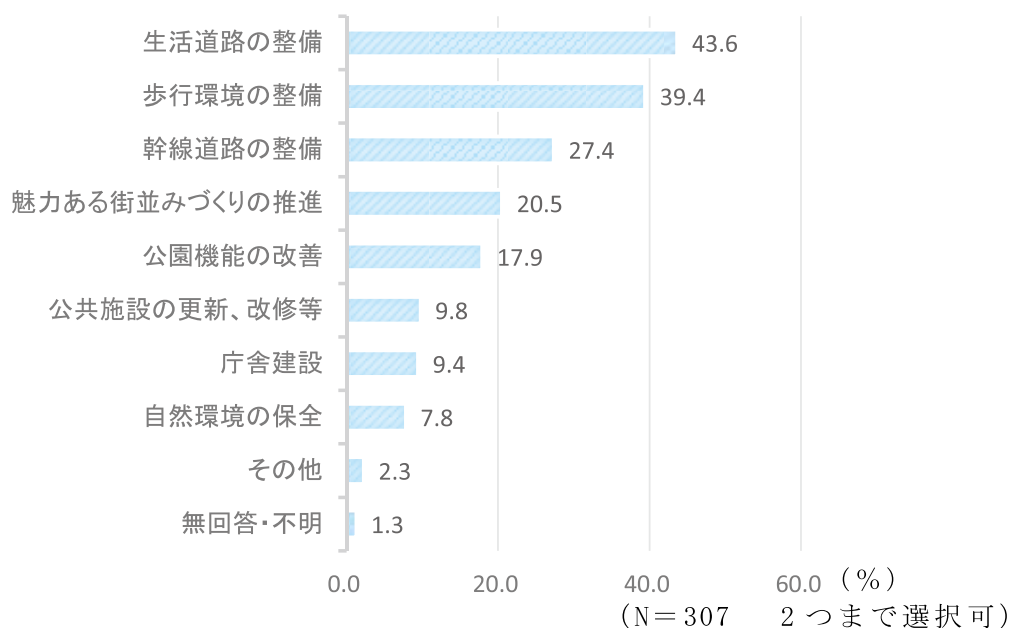


(%)

(N = 1, 119 3 つまで選択可)

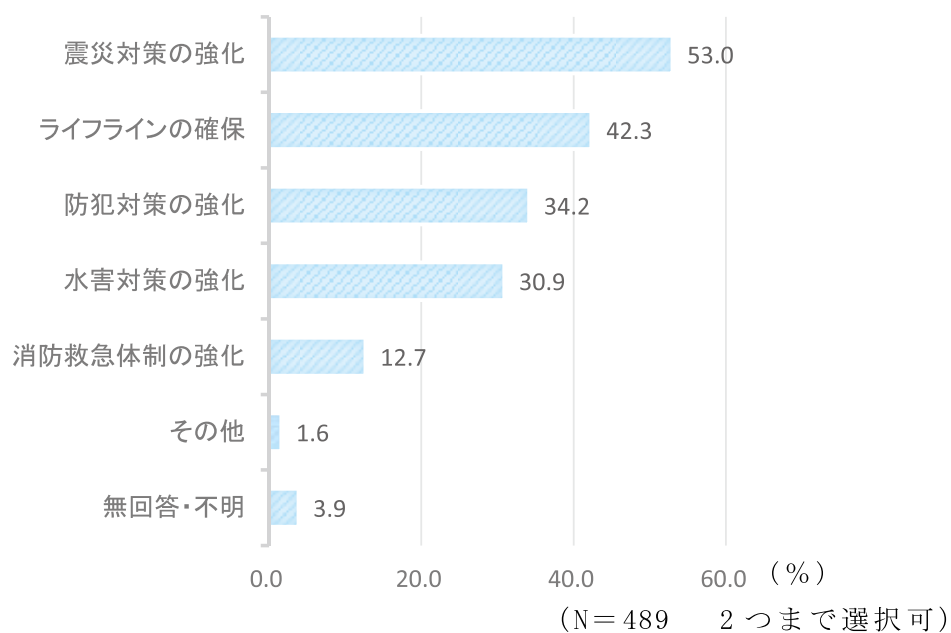
① 都市基盤施設の整備

- 「生活道路の整備」が43.6%と最も高く、次いで「歩行環境の整備」が39.4%となっている。
- 最も低いのは「自然環境の保全」で7.8%となっている。



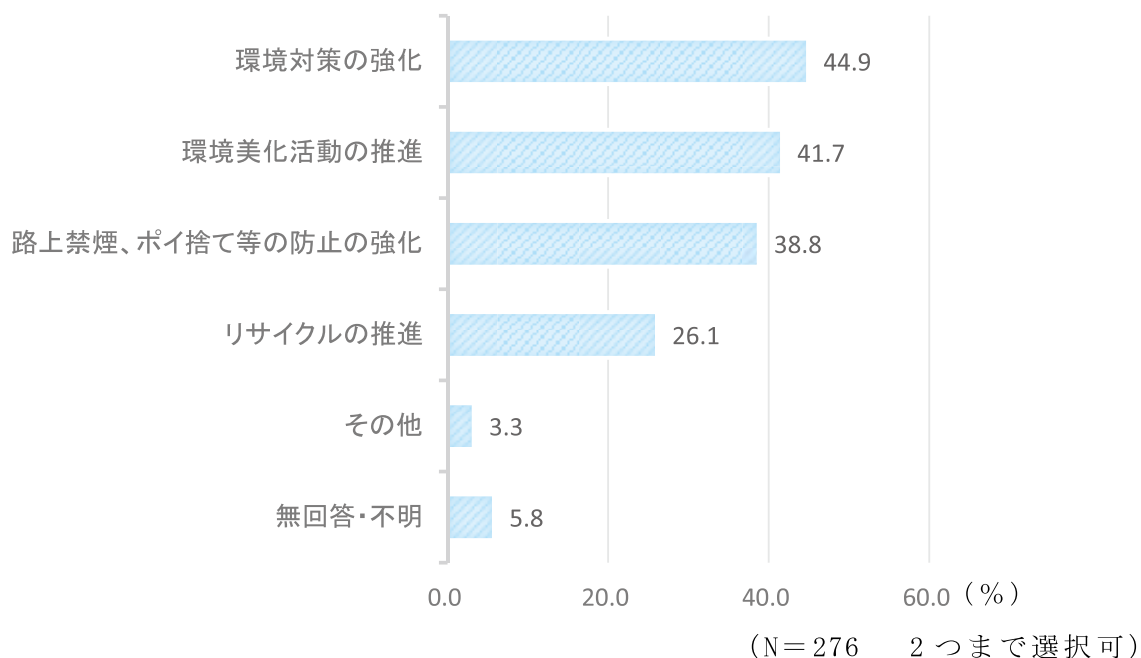
② 防災・防犯施策

- 「震災対策の強化」が53.0%と最も高く、次いで「ライフラインの確保」が42.3%となっている。
- 最も低いのは「消防救急体制の強化」が12.7%となっている。



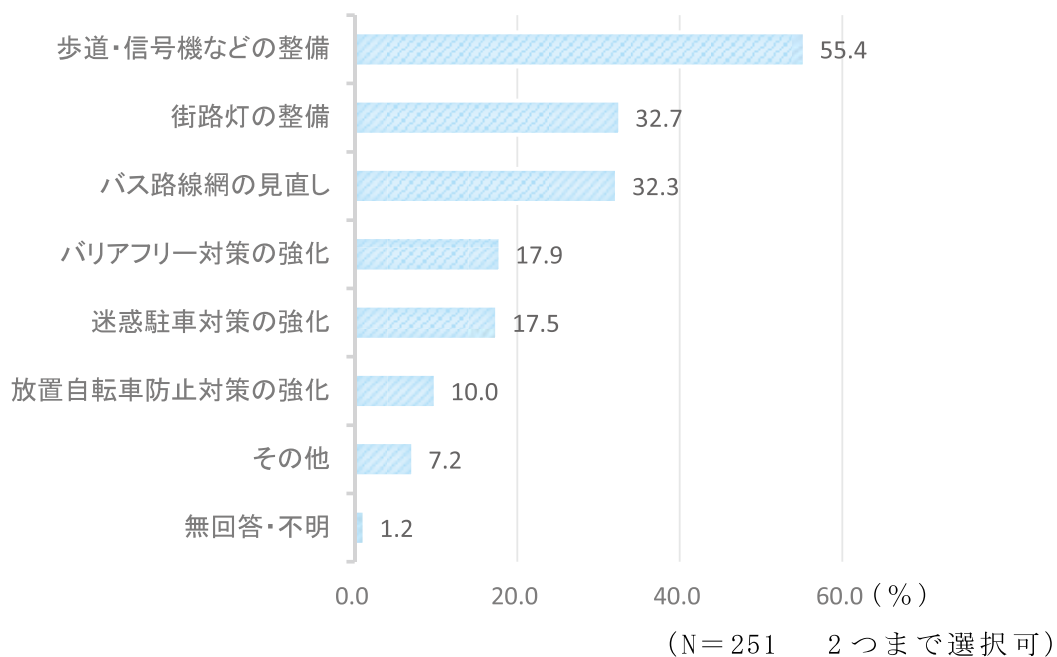
③ 地域環境施策

- 「環境対策の強化」が 44.9%と最も高く、次いで「環境美化活動の推進」が 41.7%となっている。
- 最も低いのは「リサイクルの推進」で 26.1%となっており、全体的にバランスよく回答が得られている。



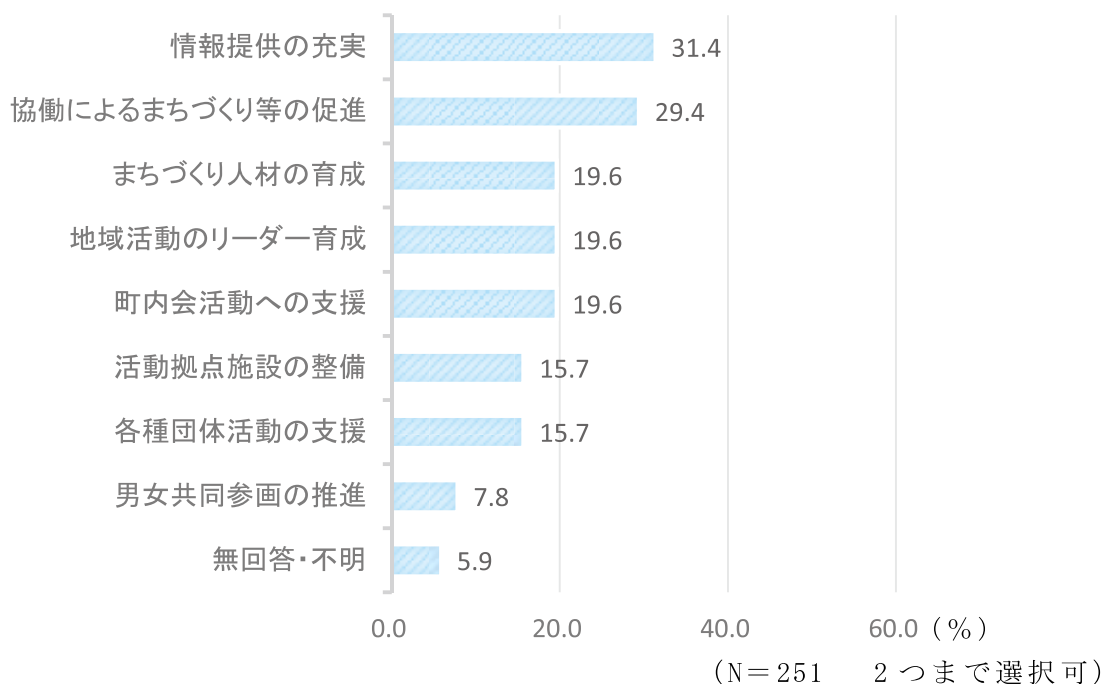
④ 交通施策

- 「歩道・信号機などの整備」が 55.4%と最も高く、次いで「街路灯の整備」が 32.7%、「バス路線網の見直し」が 32.3%となっている。
- 最も低いのは「放置自転車防止対策の強化」で 10.0%となっている。



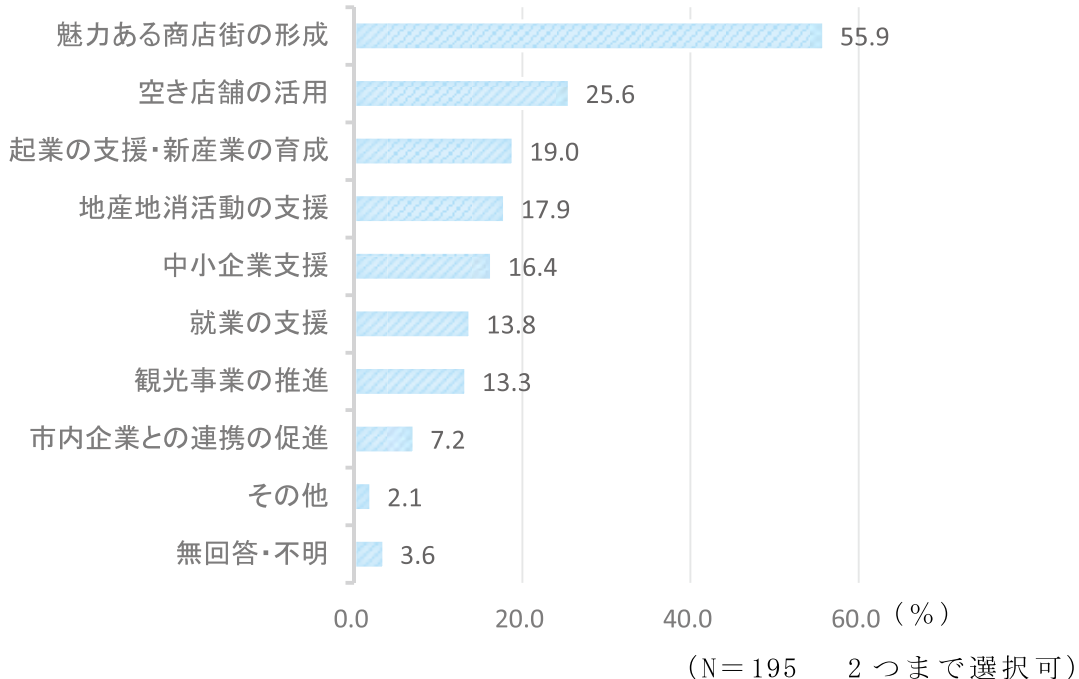
⑤ 市民協働施策

- 「情報提供の充実」が31.4%と最も高く、次いで「協働によるまちづくり等の促進」が29.4%となっている。
- 最も低いのは「男女共同参画の推進」で7.8%となっている。



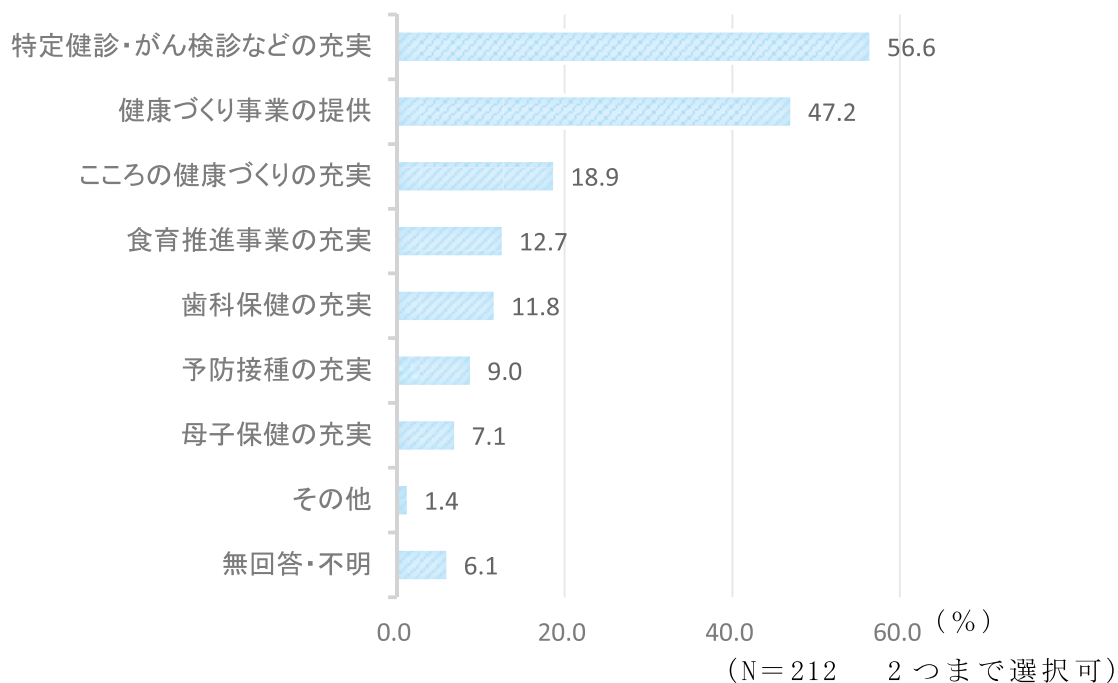
⑥ 産業振興施策

- 「魅力ある商店街の形成」が55.9%と突出して高くなっている。
- 最も低いのは「市内企業との連携の促進」で7.2%となっている。



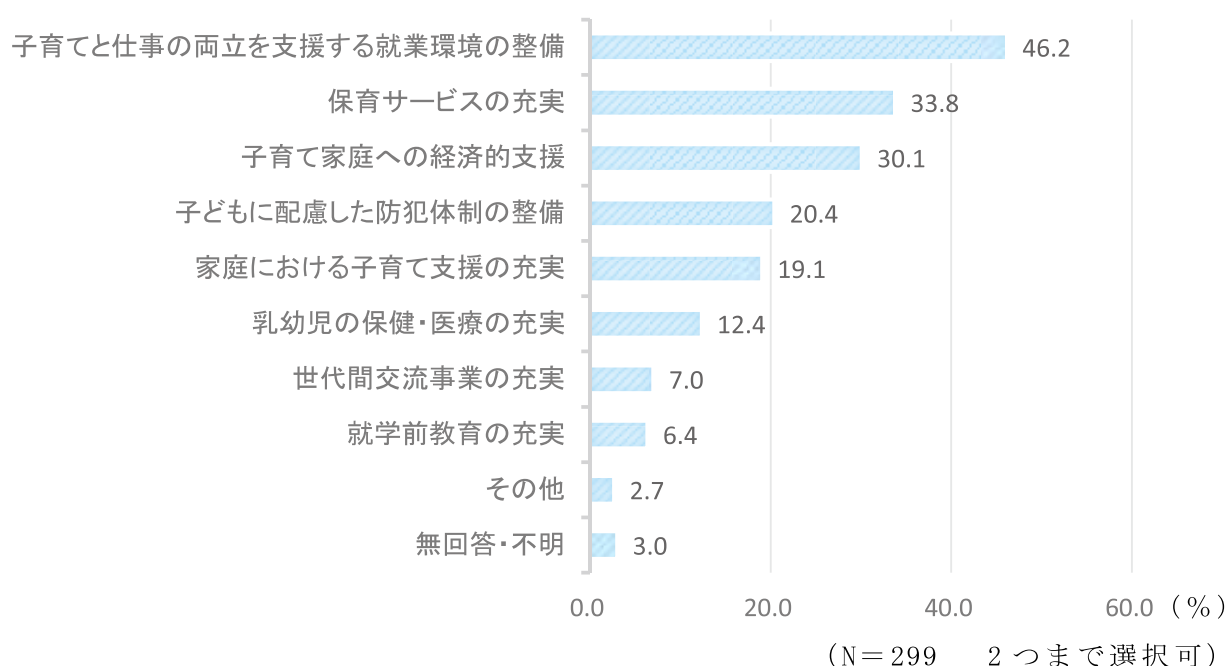
⑦ 健康づくり施策

- 「特定健診・がん検診などの充実」が 56.6%と最も高く、次いで「健康づくり事業の提供」が 47.2%となっている。
- 最も低いのは「母子保健の充実」で 7.1%となっている。



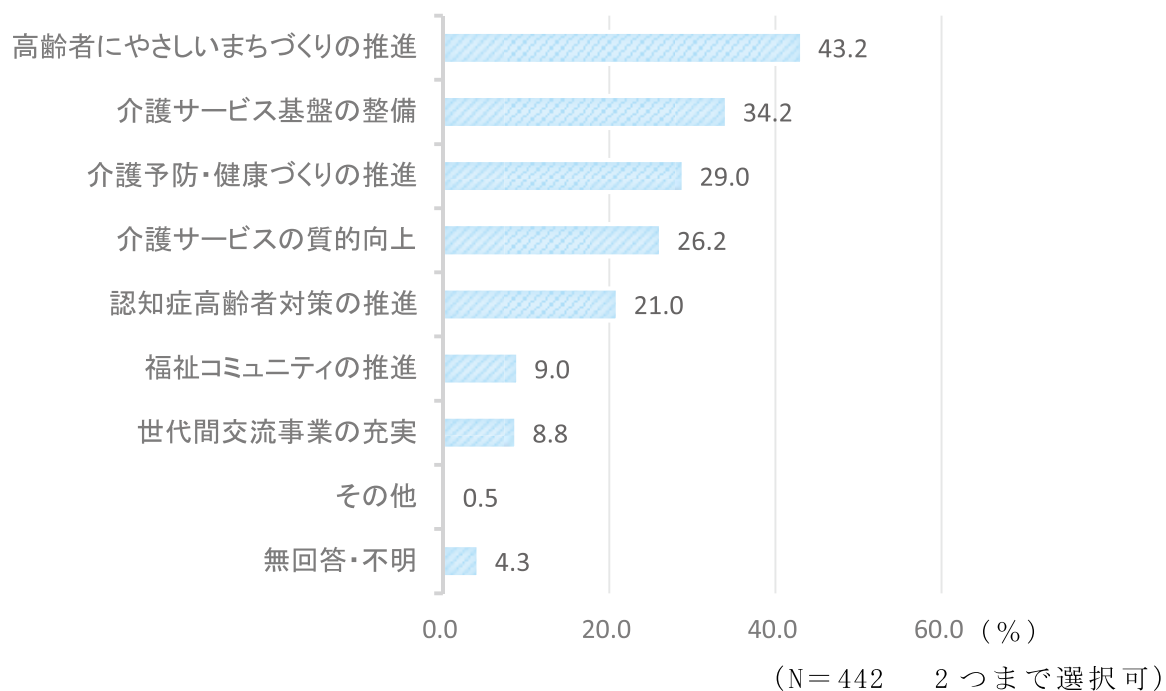
⑧ 子育て支援施策

- 「子育てと仕事の両立を支援する就業環境の整備」が 46.2%と最も高く、次いで「保育サービスの充実」が 33.8%となっている。
- 最も低いのは「就学前教育の充実」で 6.4%となっている。



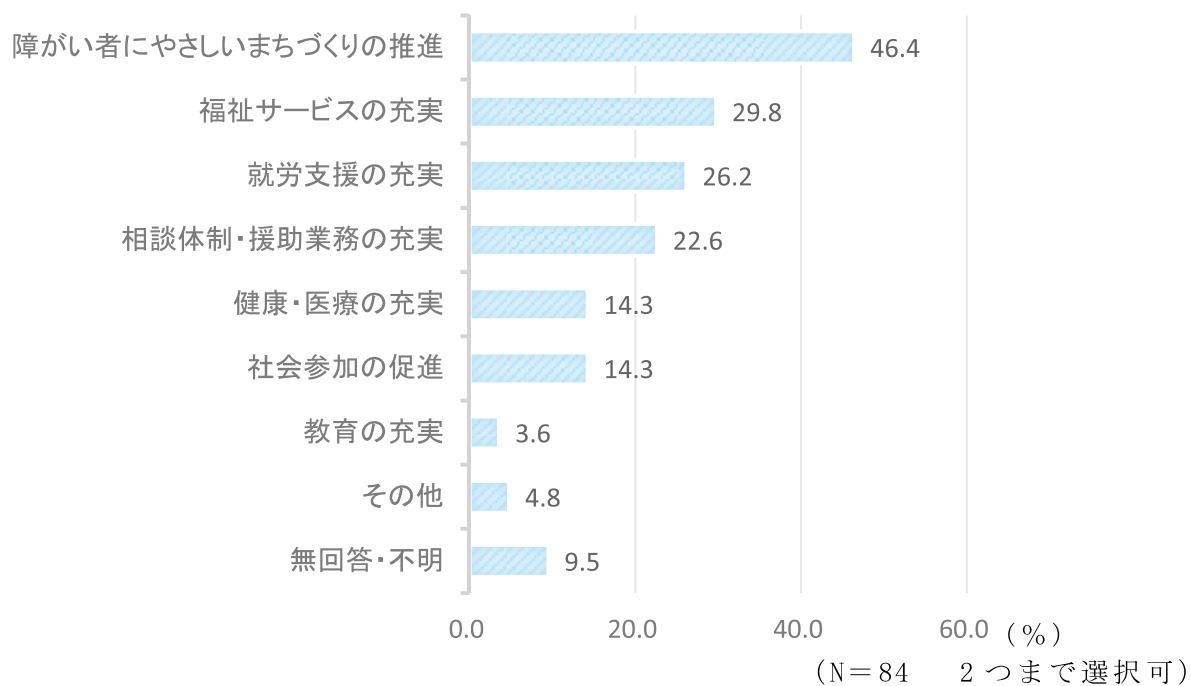
⑨ 高齢者施策

- 「高齢者にやさしいまちづくりの推進」が 43.2%と最も高く、次いで「介護サービス基盤の整備」が 34.2%となっている。
- 最も低いのは「世代間交流事業の充実」で 8.8%となっている。



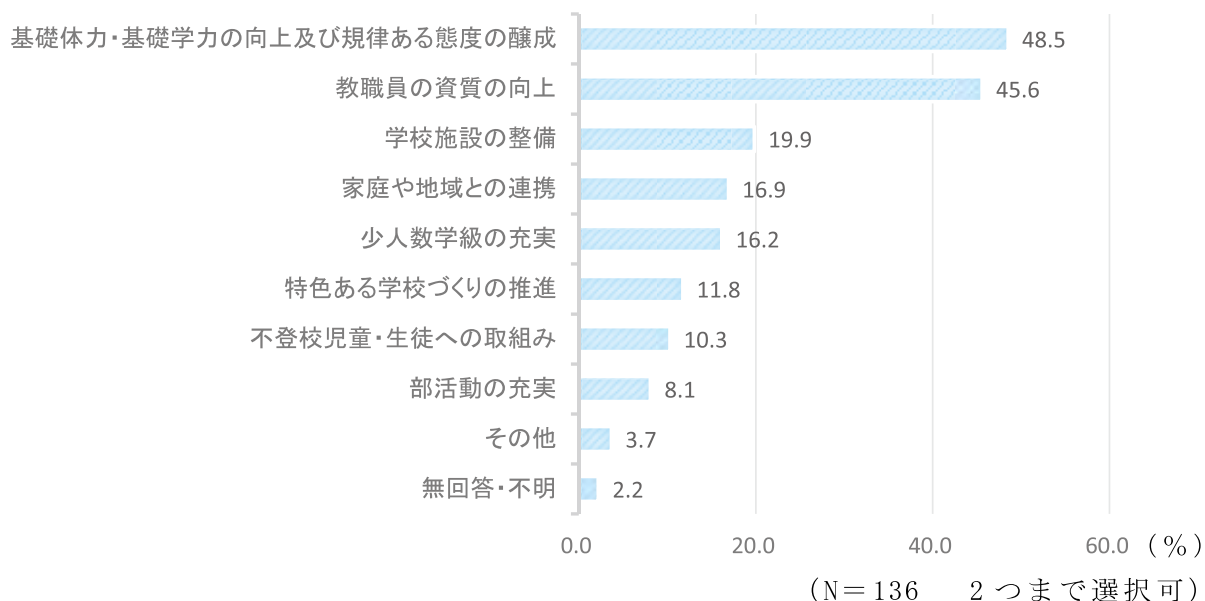
⑩ 障がい者施策

- 「障がい者にやさしいまちづくりの推進」が 46.4%と最も高くなっている。
- 最も低いのは「教育の充実」で 3.6%となっている。



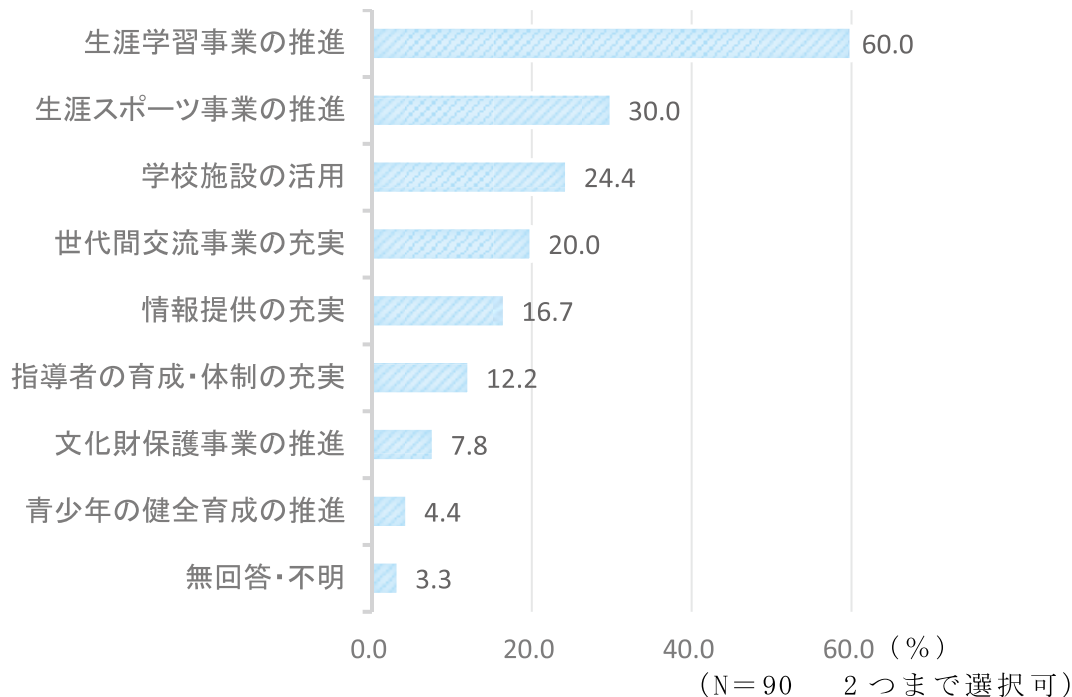
⑪ 学校教育施策

- 「基礎体力・基礎学力の向上及び規律ある態度の醸成」が48.5%と最も高く、次いで「教職員の資質の向上」が45.6%となっている。
- 最も低いのは「部活動の充実」で8.1%となっている。



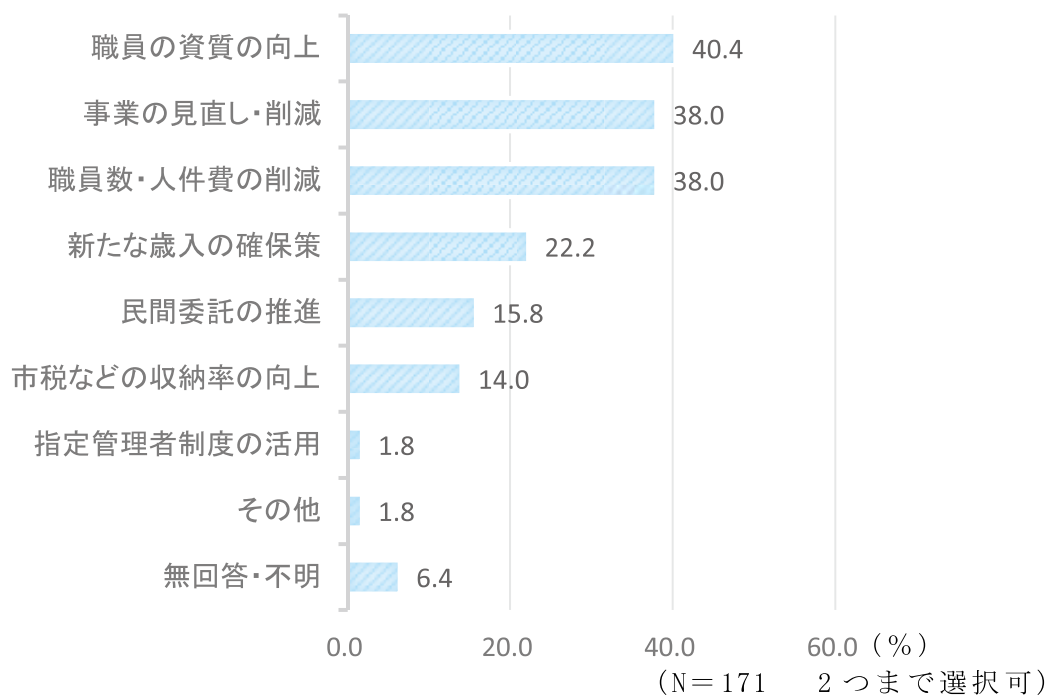
⑫ 生涯学習施策

- 「生涯学習事業の推進」が60.0%と突出して高く、次いで「生涯スポーツ事業の推進」が30.0%となっている。
- 最も低いのは「青少年の健全育成の推進」で4.4%となっている。



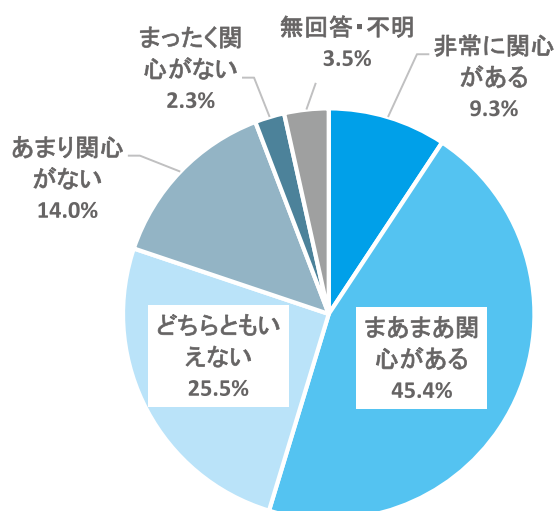
⑬ 行財政改革

- 「職員の資質の向上」が 40.4%と最も高く、次いで「事業の見直し・削減」「職員数・人件費の削減」が 38.0%となっている。
- 最も低いのは「指定管理者制度の活用」で 1.8%となっている。



(8) 市政への関心

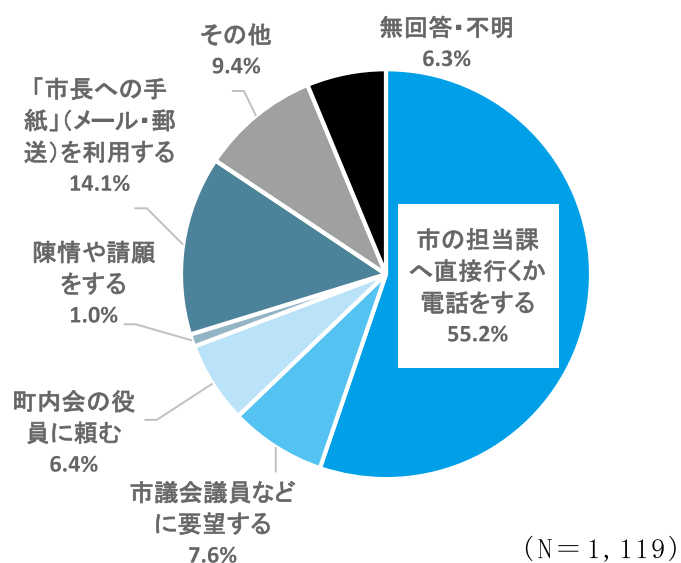
- 「まあまあ関心がある」が 45.4%と半数近くの割合となっており、次いで「どちらともいえない」が 25.5%となっている。
- 「非常に関心がある」、「まあまあ関心がある」の合計が 54.7%であることから、市政への関心度は約半数となっている。



(N=1,119)

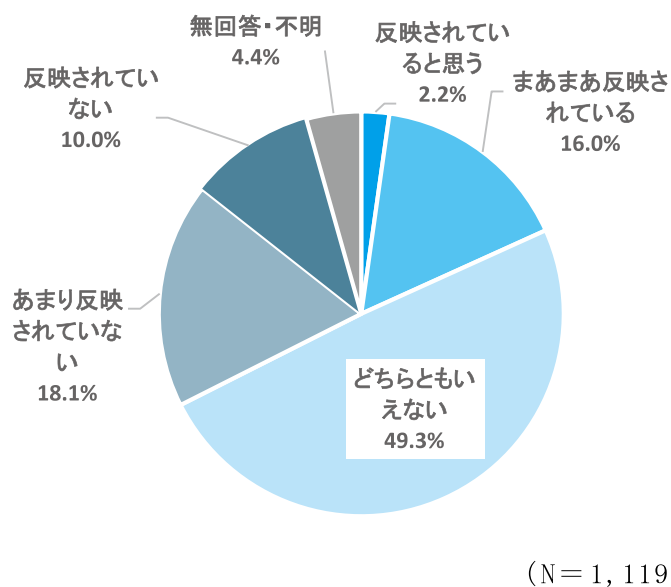
(9) 要望を伝える方法

- 「市の担当課へ直接行くか電話をする」が 55.2%と突出して高くなっている。
- 最も低いのは「陳情や請願をする」で 1.0%となっている。



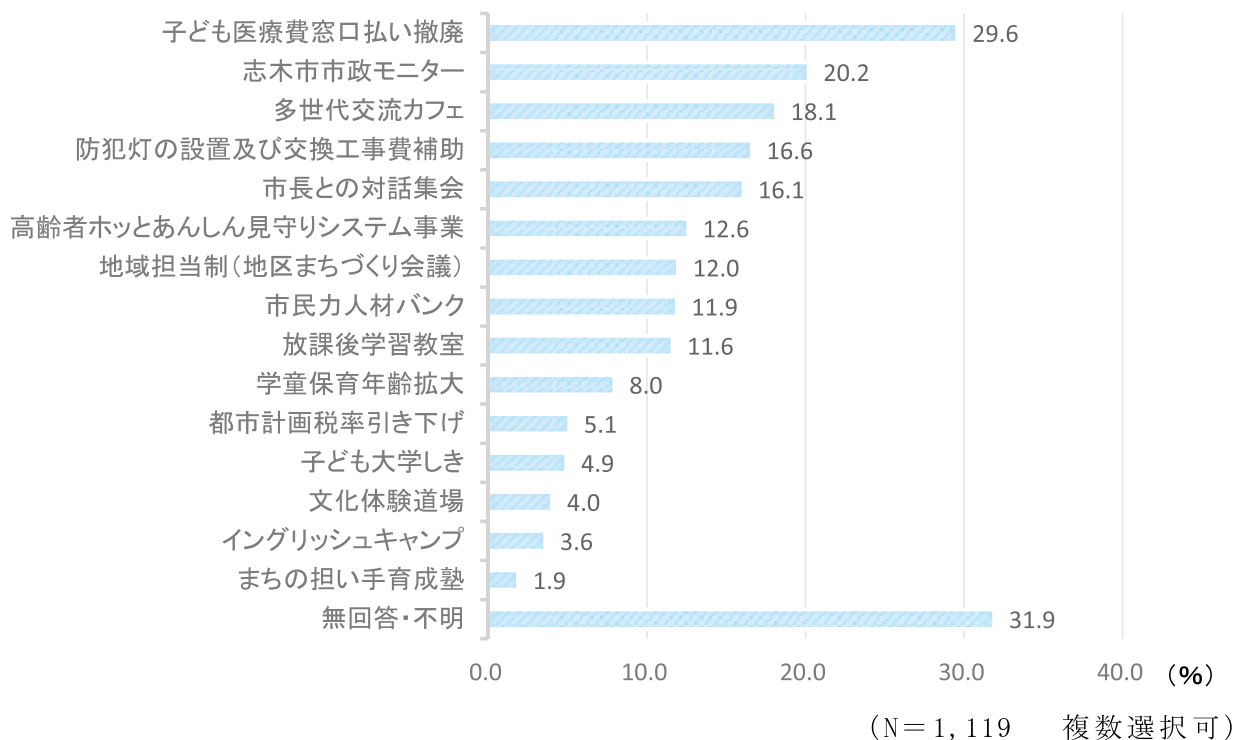
(10) 要望の市政への反映

- 「どちらともいえない」が 49.3%と全体の半数近くを占めており、次いで「あまり反映されていない」が 18.1%、「まあまあ反映されている」が 16.0%となっている。



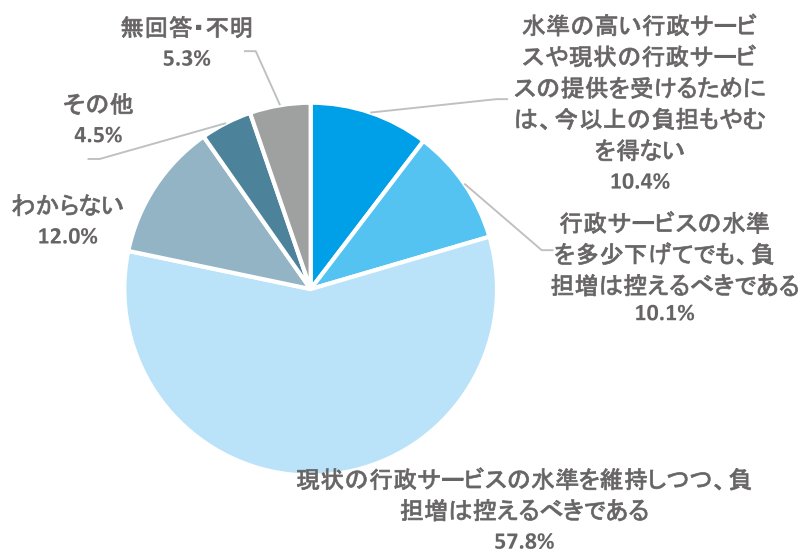
(11) 制度・事業の認知度

- 「子ども医療費窓口払い撤廃」が29.6%と最も高く、次いで「志木市市政モニター」が20.2%、「多世代交流カフェ」が18.1%、「防犯灯の設置及び交換工事費補助」が16.6%、「市長との対話集会」が16.1%となっている。
- 最も低いのは「まちの担い手育成塾」が1.9%となっている。



(12) 将来期待する市政運営

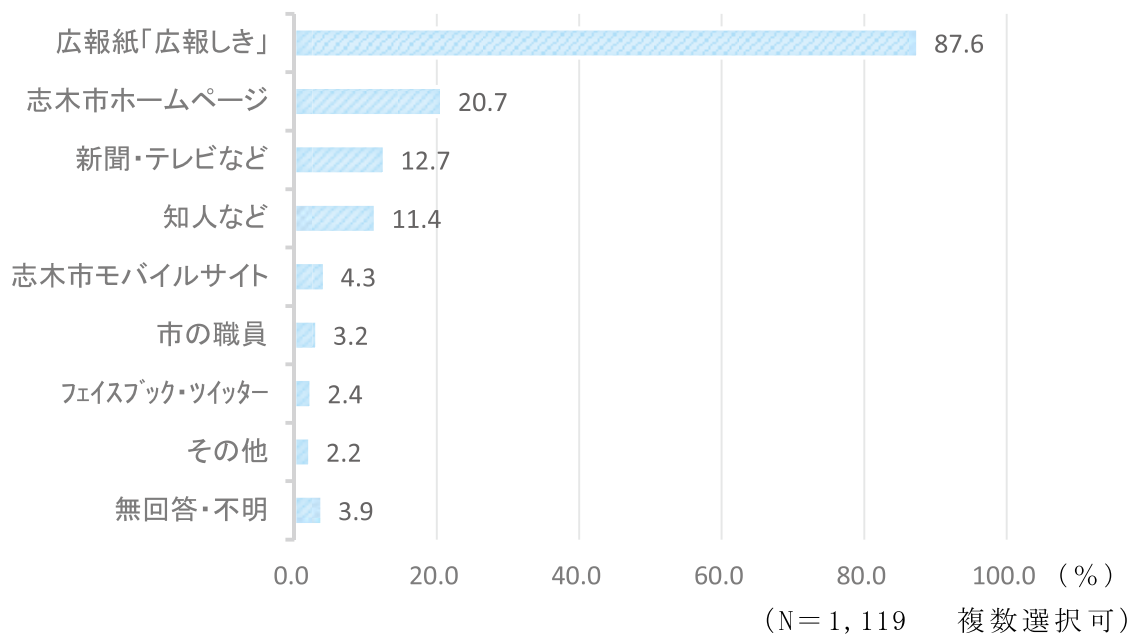
- 「現状の行政サービスの水準を維持しつつ、負担増は控えるべきである」が57.8%と突出して高くなっている。
- 最も低いのは「行政サービスの水準を多少下げてでも、負担増は控えるべきである」で10.1%となっている。



(N = 1,119)

(13) 市からの情報入手方法

- 「広報紙「広報しき」」が 87.6%と突出して高くなっており、ほとんどの方が「広報しき」から情報入手しているといえる。
- 最も低いのは「フェイスブック・ツイッター」で 2.4%となっている。

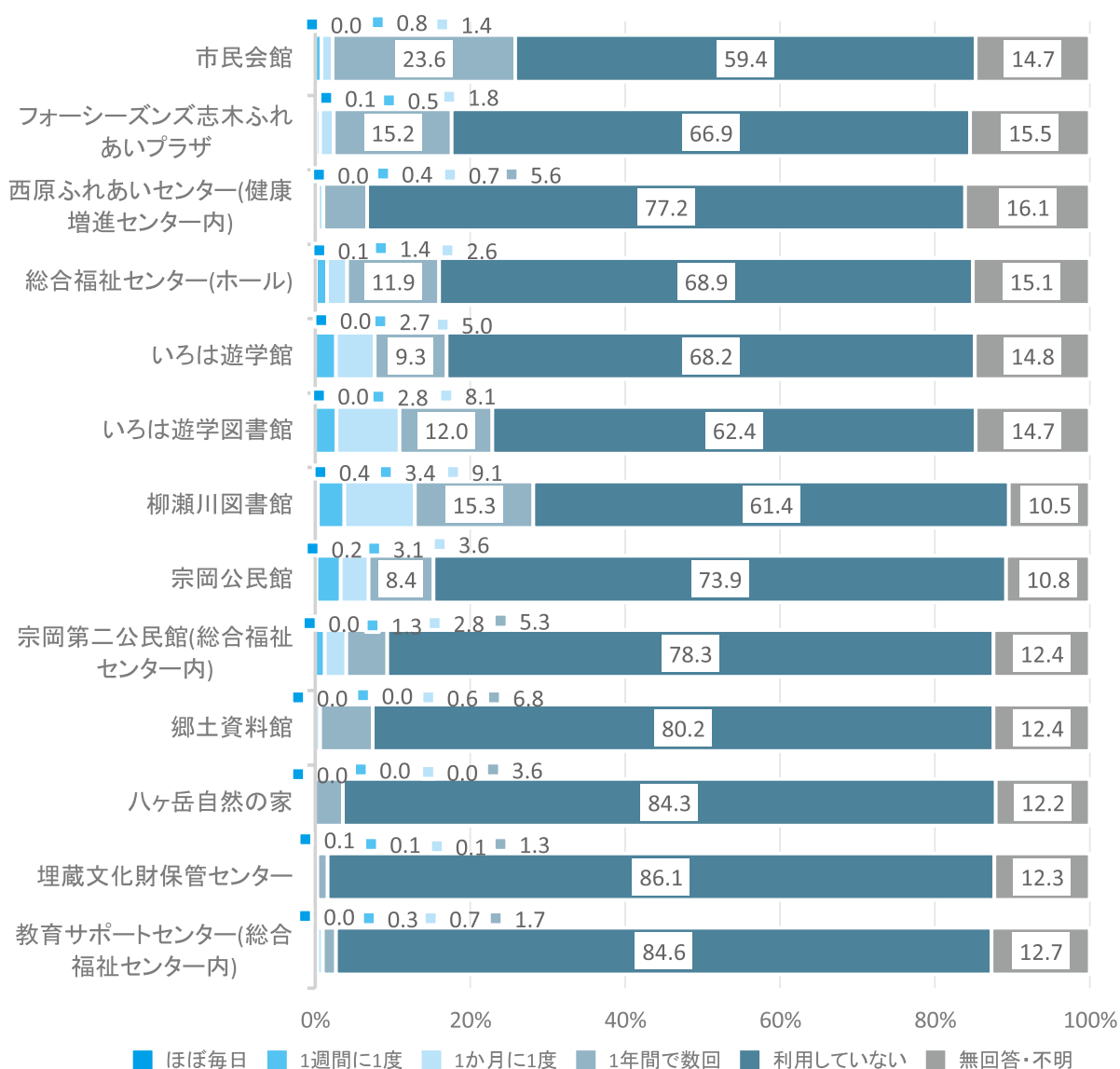


(14) 公共施設の利用状況

① 市民・文化・社会教育

i. 利用状況

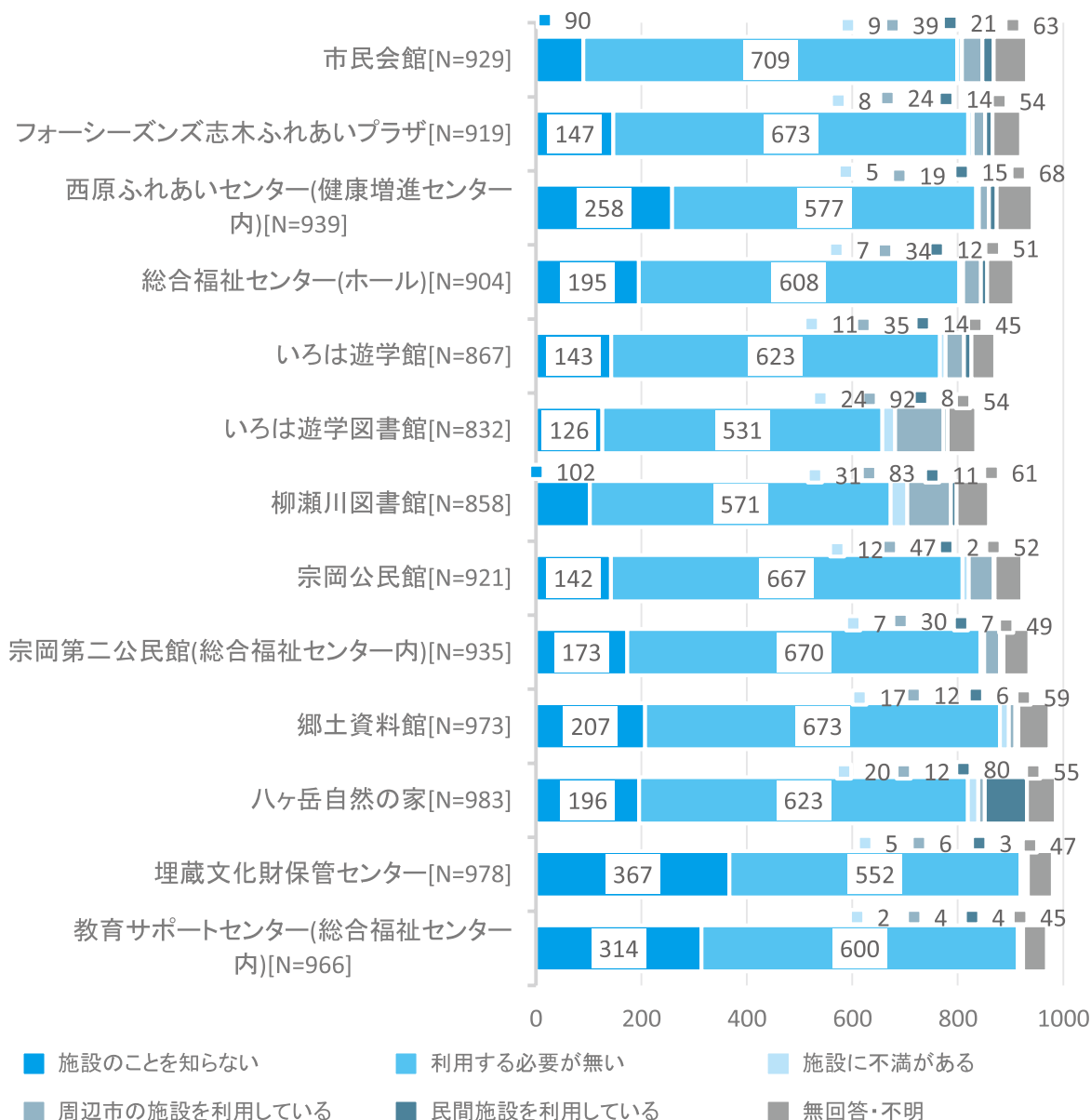
- 全体の半数以上が「利用していない」となっている。
- 「市民会館」「フォーシーズンズ志木ふれあいプラザ」「総合福祉センター（ホール）」「いろは遊学図書館」「柳瀬川図書館」は 1 割近くが「1 年間で数回」となっている。
- 「いろは遊学図書館」「柳瀬川図書館」は「1 か月に 1 度」と回答した方が 1 割近くとなっている。



(N = 1,119)

ii. 「1年間で数回」「利用していない」の理由

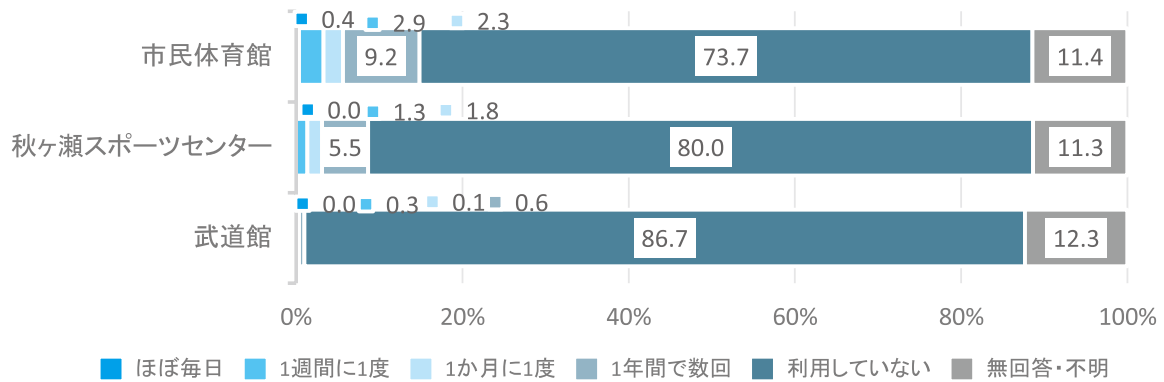
- 全体的に「利用する必要が無い」が半数以上となっており、次いで「施設のことを知らない」となっている。
- 「いろは遊学図書館」「柳瀬川図書館」については、「周辺市の施設を利用している」が1割近くとなっている。
- 「八ヶ岳自然の家」については、「民間施設を利用している」が1割近くとなっている。



② スポーツ

i. 利用状況

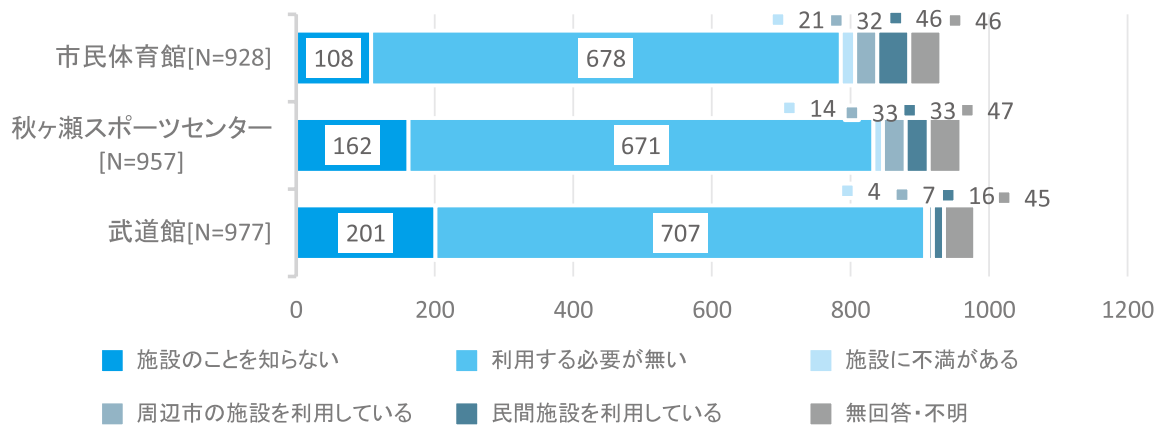
- 全体の7割以上が「利用していない」となっており、「武道館」では特に高い割合となっている。
- 「市民体育館」については、「1年間で数回」利用している方が1割近くとなっている。



(N = 1, 119)

ii. 「1年間で数回」「利用していない」の理由

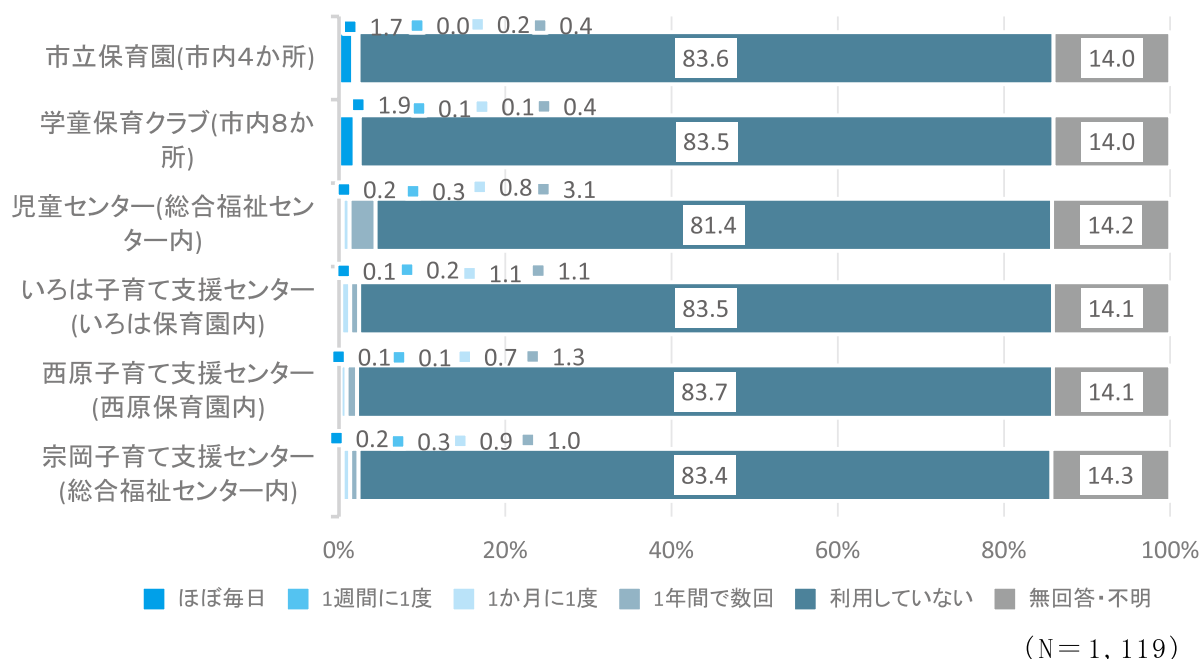
- 「利用する必要が無い」が半数以上となっている。
- 「施設のことを知らない」が1割以上となっており、特に「武道館」が高い割合となっている。



③ 子育て

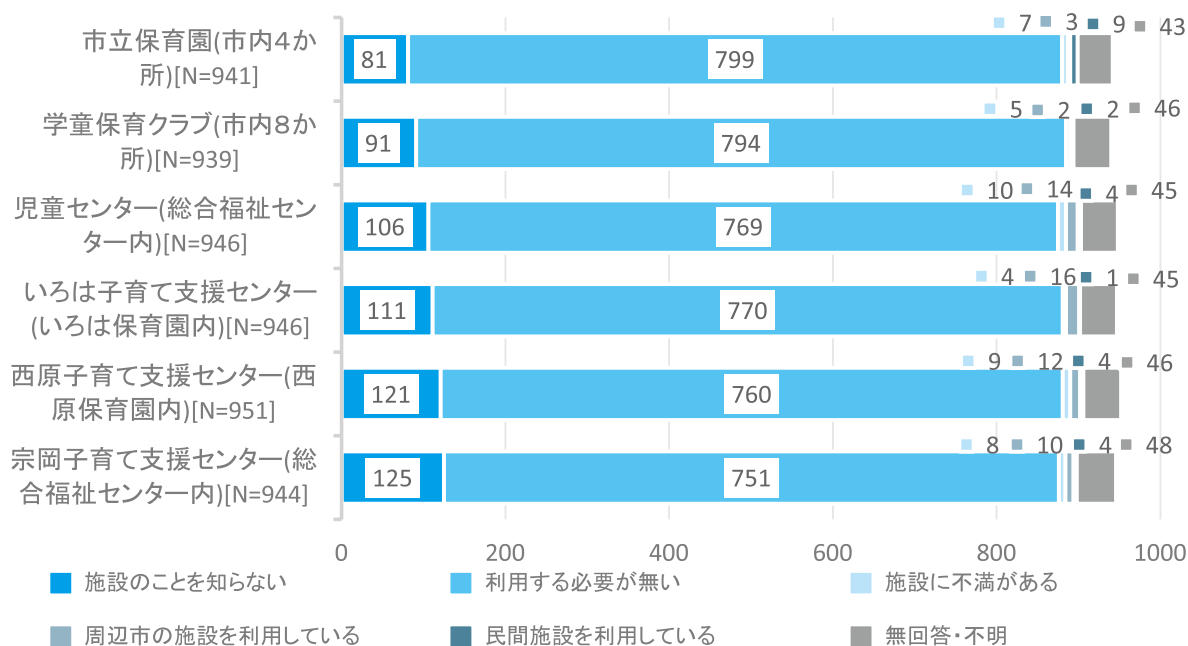
i. 利用状況

□ 全体的に「利用していない」が高い割合となっている。



ii. 「1年間で数回」「利用していない」の理由

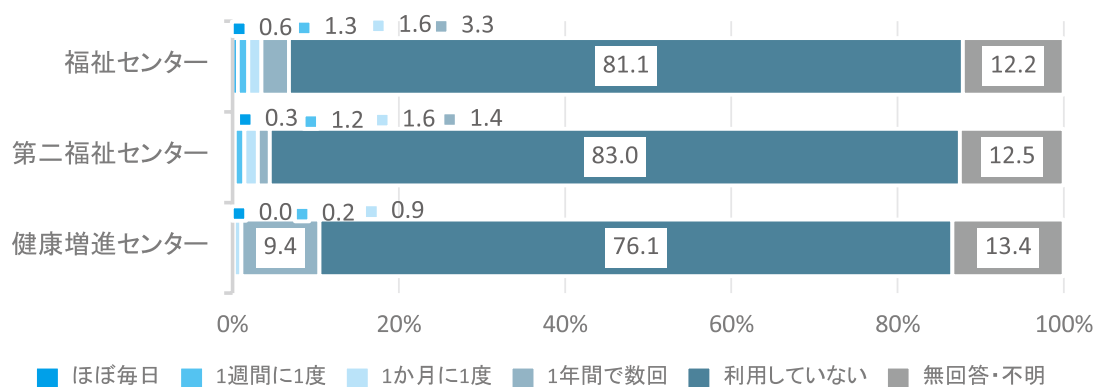
□ 「利用する必要が無い」が7割以上と最も高くなっており、次いで「施設のことを知らない」となっている。



③ 保健・福祉

i. 利用状況

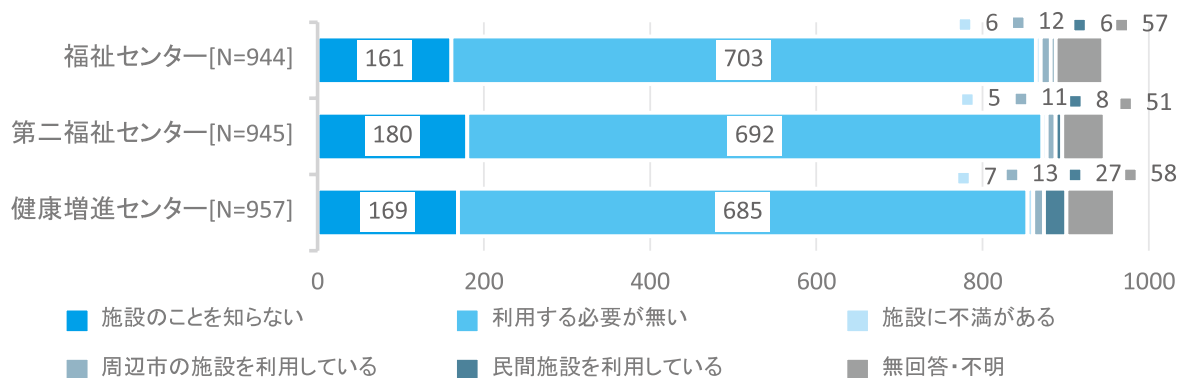
- 全体的に「利用していない」が7割以上となっている。
- 「健康増進センター」については、「1年間で数回」が1割近くとなっている。



(N = 1, 119)

ii. 「1年間で数回」「利用していない」の理由

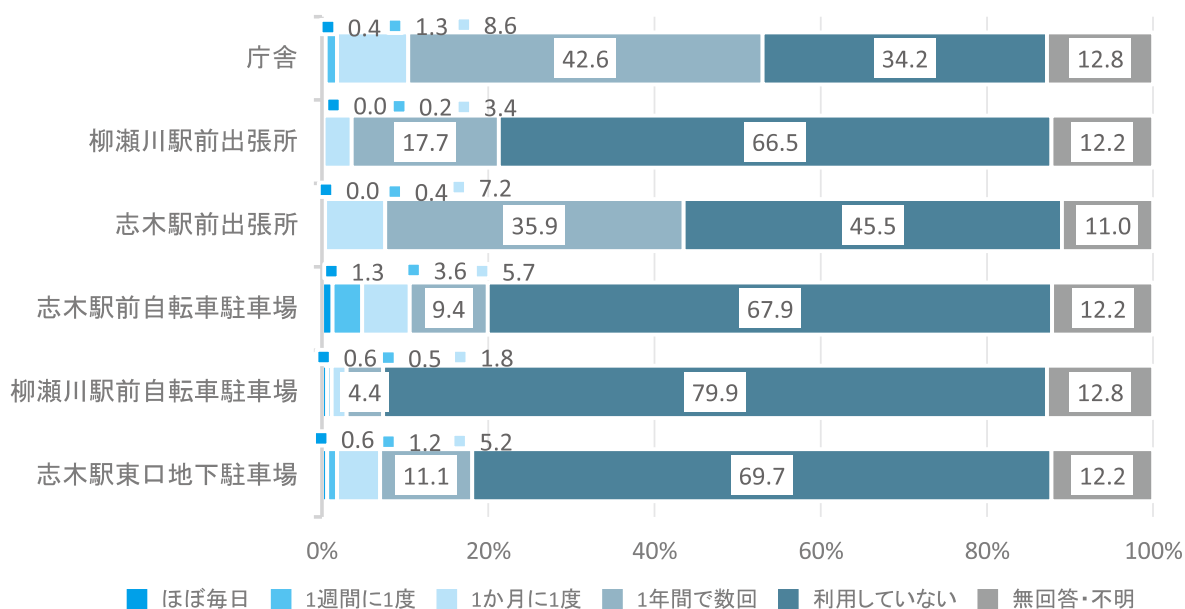
- 「利用する必要が無い」が半数以上を占めており、「施設のことを知らない」が2割近くとなっている。



⑤ その他

i. 利用状況

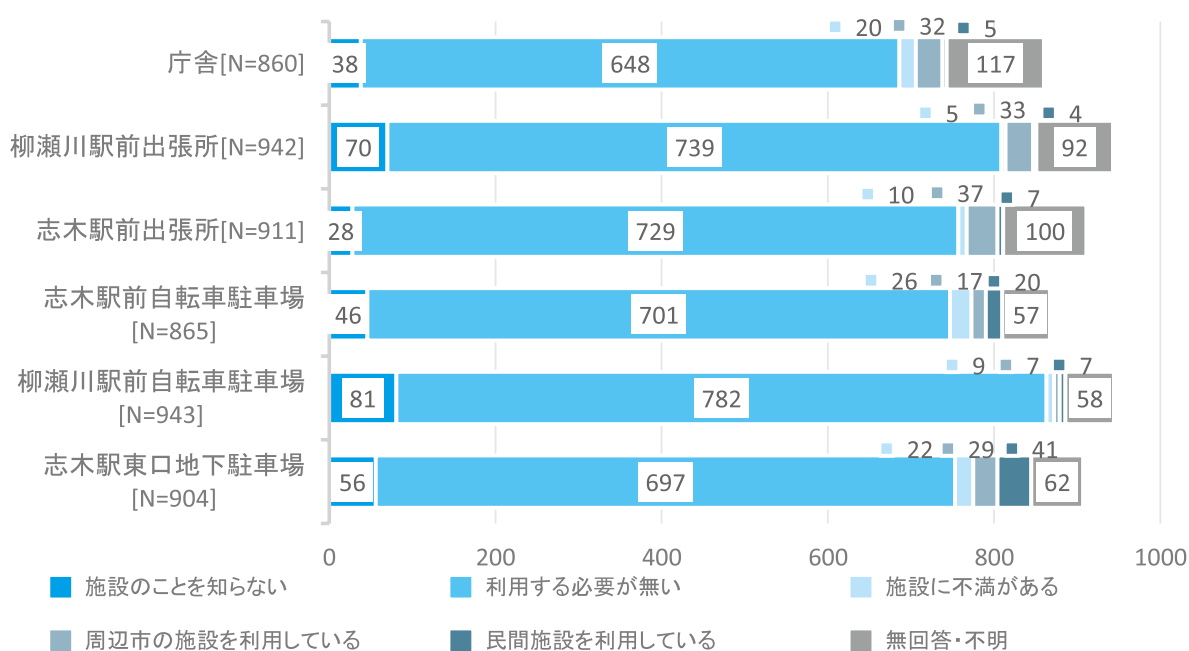
- 「庁舎」については、「1年間で数回」が最も高くなっているが、その他は「利用していない」が最も高い割合となっている。
- 「庁舎」「志木駅前出張所」は「1か月に1度」が1割近くとなっている。



(N = 1, 119)

ii. 「1年間で数回」「利用していない」の理由

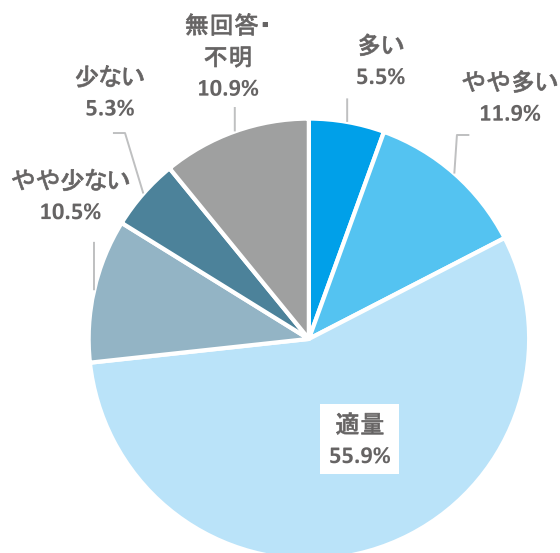
- 全体的に「利用する必要が無い」が最も高く、次いで「施設のことを知らない」となっている。



(1 5) 公共施設の量・配置

① 量

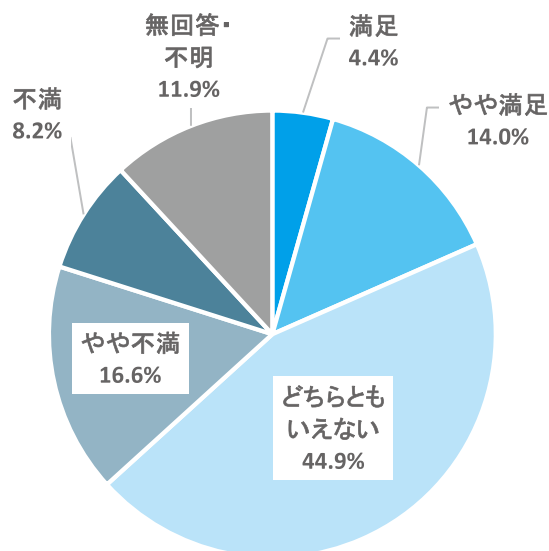
- 「適量」が55.9%と突出して高く、全体の半数以上を占めている。
- 次いで「やや多い」が11.9%、「やや少ない」が10.5%となっており、同程度といえる。



(N = 1, 119)

② 配置

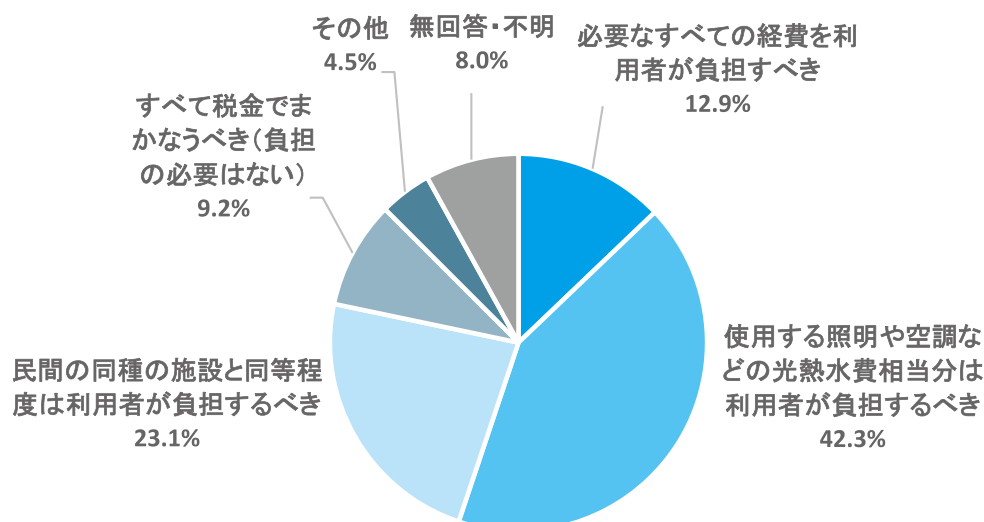
- 「どちらともいえない」が44.9%と最も高く、次いで「やや不満」が16.6%、「やや満足」が14.0%となっている。



(N = 1, 119)

(16) 負担費用の程度

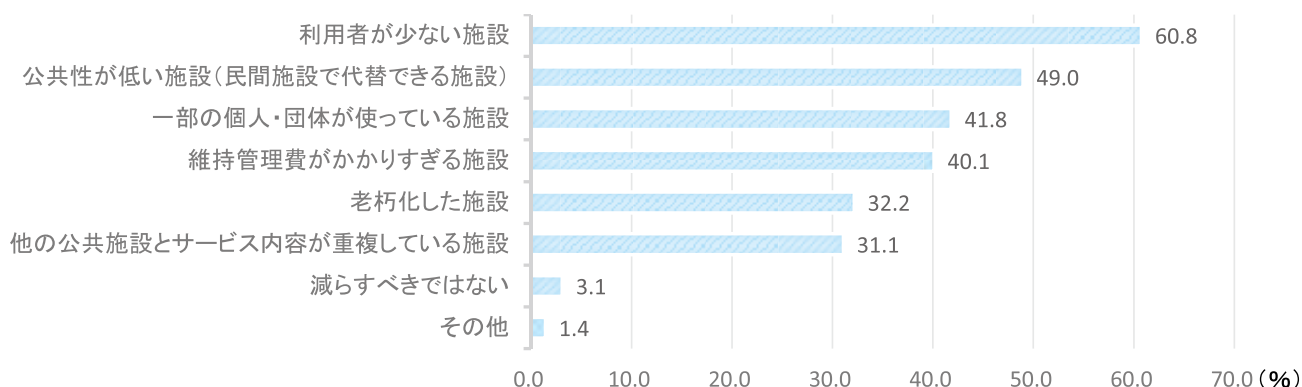
- 「使用する照明や空調などの光熱水費相当分は利用者が負担すべき」が 42.3%と最も高く、次いで「民間の同種の施設と同等程度は利用者が負担すべき」が 23.1%となっている。
- 最も低いのは「すべて税金でまかなうべき（負担の必要はない）」で 9.2%となっている。



(N=1,119)

(17) 減らすべき施設

- 「利用者が少ない施設」が 60.8%と最も高く、半数以上となっている。
- 次いで「公共性が低い施設（民間施設で代替できる施設）」が 49.0%、「一部の個人・団体が使っている施設」が 41.8%、「維持管理費がかかりすぎる施設」が 40.1%となっている。
- 最も低いのは「減らすべきではない」が 3.1%となっており、削減の意向が強いといえる。

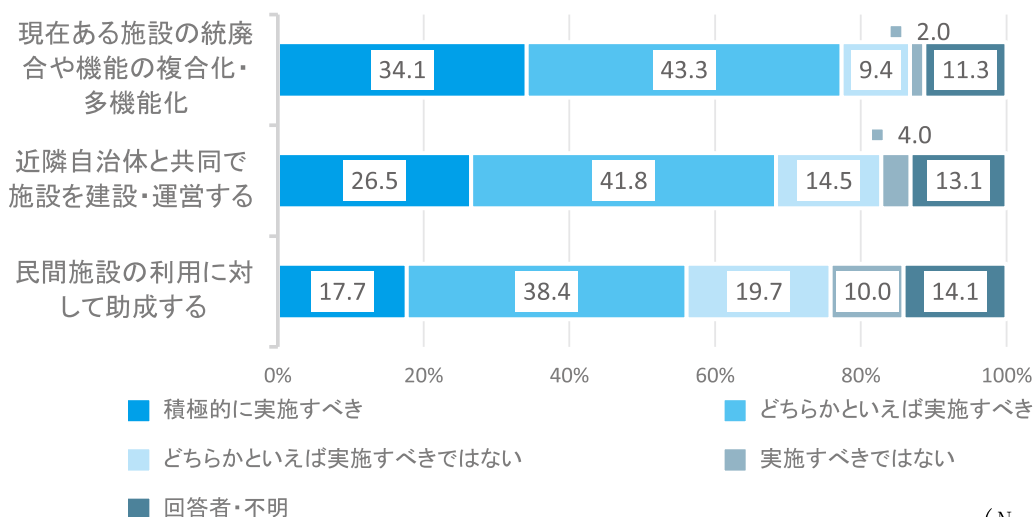


(N=1,119 3つまで選択可)

(1 8) 公共施設の対策

① 施設数を減らす

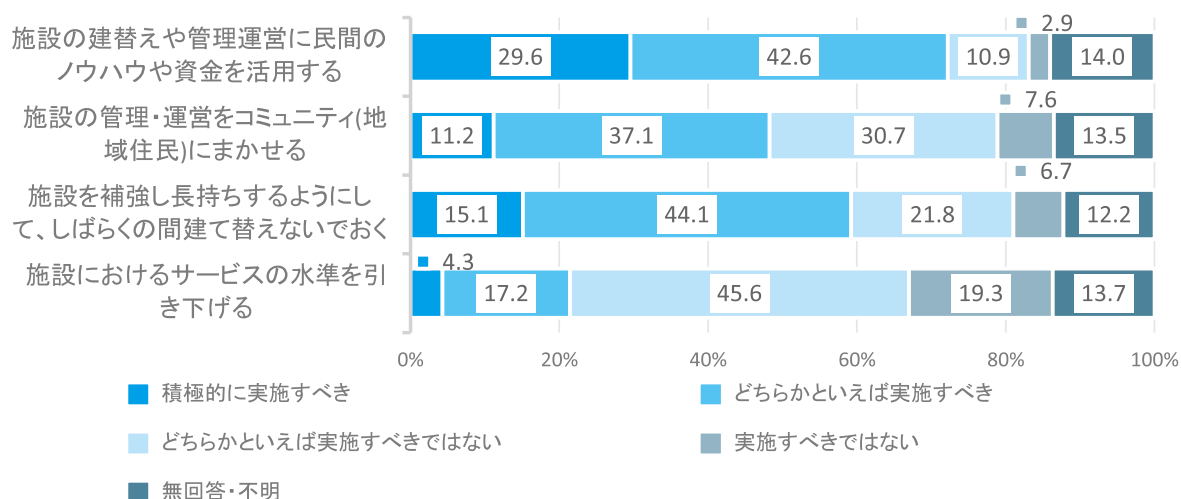
- 全体的に「積極的に実施すべき」「どちらかといえば実施すべき」の合計が半数以上であることから、施設数を減らす意向が強いといえる。
- 特に「現在ある施設の統廃合や機能の複合化・多機能化」で顕著となっている。



(N = 1, 119)

② 建設や運営の費用を軽減する

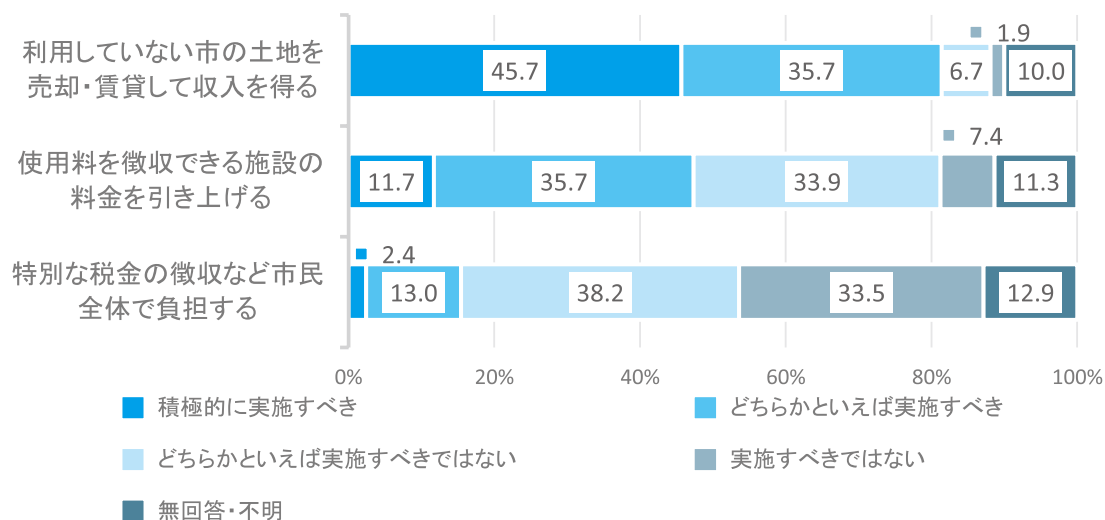
- 「施設の建替えや管理運営に民間のノウハウや資金を活用する」「施設の管理・運営をコミュニティ(地域住民)にまかせる」「施設を補強し長持ちするようにして、しばらくの間建て替えないでおく」では半数以上が「積極的に実施すべき」「どちらかといえば実施すべき」となっている。
- 一方、「施設におけるサービスの水準を引き下げる」は「どちらかといえば実施すべきではない」が45.6%と半数近くとなっており、次いで「実施すべきではない」が19.3%となっている。



(N = 1, 119)

③ 建設や運営の費用を捻出する

- 「利用していない市の土地を売却・賃貸して収入を得る」では、「積極的に実施すべき」が 45.7%と最も高く、次いで「どちらかといえば実施すべき」が 35.7%となっており、実施する意向が強いといえる。
- 「使用料を徴収できる施設の料金を引き上げる」では、「積極的に実施すべき」「どちらかといえば実施すべき」の合計が 47.4%、「どちらかといえば実施すべきではない」「実施すべきではない」の合計が 41.3%であり、意向が分かれた。
- 「特別な税金の徴収など市民全体で負担する」では、「どちらかといえば実施すべきではない」が 38.2%と最も高く、次いで「実施すべきではない」が 33.5%となっている。



(N = 1, 119)

3. 意見公募手続制度の結果

志木市将来ビジョン（第五次志木市総合振興計画 将来構想）を策定するにあたり、志木市意見公募手続条例に基づき、計画案を公表し、意見公募（パブリックコメント）を実施しました。

■意見公募期間

平成27年11月19日（木）から平成27年12月18日（金）まで

■計画の公開場所

市ホームページ、市役所政策推進課、柳瀬川駅前出張所、志木駅前出張所、いろは遊学館、宗岡公民館、宗岡第二公民館、柳瀬川図書館、いろは遊学図書館

■意見公募の結果

人数（個人2人、団体0人）

意見件数（2件）